

消防年報

平成28年版

第61号



シンボルマーク 「ファイ太くん」

瀬戸市消防本部

はじめに

平成27年は、阿蘇山や口永良部島の噴火、大型台風の列島縦断、また、関東・東北豪雨による利根川水系鬼怒川の氾濫など、数多くの自然災害に見舞われた1年でもありました。

また、平成28年4月に発生した熊本地震では、2度にわたる震度7の強い揺れにより、同地域一帯が甚大な被害を受けるなど、自然災害の脅威を目の当たりにし、自然災害に対する防災・減災の重要性を再認識させられました。

これから迎える超高齢化社会などの様々な社会的背景から見ても、このような大規模かつ広域的な災害に対しては、防火防災関係機関や地域の枠組みを越えた協力体制を確立することが、防災・減災のためには必要不可欠であると言えます。

本市はこれからも、消防力及び消防体制の充実強化に努め、火災などの災害を未然に防止するだけでなく、自然災害への万全の備えによって、安全・安心が実感できるまちづくりに全力を挙げて取り組んでまいります。

この年報は、平成28年4月1日現在における消防体制並びに、平成27年中の災害状況等を収録し、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に編集したものです。

消防関係者はもとより、市民一人ひとりにこの年報をご活用いただければ幸いです。

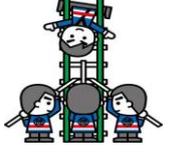
平成28年10月

瀬戸市消防本部

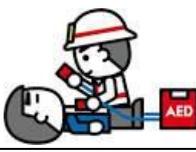
一 目 統 計

平成28年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(H27年中) P49
				
	111.40 km ²	130,676 人	54,388 世帯	年平均気温 16.0℃ 年平均湿度 71.5 % 年間降水量 1,557 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	12億9,335万円 市民一人当たり 9,897円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	123人 (内女性2人)	253人 (内女性18人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車3台 ポンプ車4台	はしご車等14台	高規格救急車4台	消火栓 2,954基 防火水槽等 527基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (H27年中)	火災 P26	主な火災原因 P27	救急 P36	救助 P44
				
	31件 出火率2.4件/万人	たばこ4件 こんろ4件 放火・放火の疑い3件 火あそび3件	出動件数5,360件 搬送人員5,073人	出動件数72件 救助人員39人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物 P17	査察実施率 P18	危険物施設 P20	消防関係団体 P22-24
				危険物安全協会 331 会 員 自衛消防連絡協議会 16 事業所 婦人防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 30 クラブ 幼年消防クラブ 26 クラブ
	4,573 件	16.4%	製造所 1 件 貯蔵所 225 件 取扱所 112 件	

平成27年度目標達成指標

指標	単位	基準値	目標値	実績値
出火率	件	5.2	4.1	2.4

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

(P 2 6 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
救命率	%	20.0	25.0	40.0

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及び除細動が必要な心電図波形（V f ・ V T）である救急患者のうち、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

(P 4 2 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防団員数	人	228	268	247 ※

※ 平成28年3月31日現在（4月1日現在253名）

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98.0	98.6	98.6

(P 1 6 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
火災による損害額	千円	120,601	107,900	26,840

(P 2 6 参照)

平成27年度のトピックス

1 火災発生件数が2年連続で減少し、過去最少に！！

平成27年中に瀬戸市で発生した火災は31件で、過去最少であった平成26年からさらに12件減少し、昭和45年から記録を始めて以来、最も少ない火災件数となりました。

火災が減少した理由としては、防火パトロールや、放火されない環境づくりなどによって、放火による火災が6件減少したほか、たばこによるものが4件減少したためです。

しかし、全国的にも件数が多い、放火、たばこ、コンロによる火災の防止対策を継続するとともに、住宅火災による高齢者の死傷者が多いことから、高齢者に対する住宅防火対策に取り組む必要があります。

2 消防署指揮車両を更新

平成12年から運用していた消防署の指揮車両を、より高機能な最新の車両に更新しました。

新型車両は、災害現場でも視認しやすいように蛍光色で塗装され、車両上部にはLED表示ボードを備えるほか、ワンタッチで展開可能な移動式指揮機やヘルメット装着型のビデオカメラなどの最新機器を備えています。



3 高規格救急自動車を更新

平成17年から東分署で運用していた高規格救急自動車を、年々高まる救急需要に対応するため、最新の車両に更新しました。

新型車両は、最新鋭の高度救急資機材を備え傷病者に対して、最適な応急手当を行うことが可能となります。



4 阪神タイガース伊藤選手を瀬戸市消防団応援サポーターに任命

瀬戸市出身で、現在、プロ野球阪神タイガースで活躍する伊藤隼太選手を、瀬戸市消防団応援サポーター第2号に任命しました。

今後は、初代応援サポーターである、シンガーソングライターの佐藤 梓さんとともに、全国的に減少傾向にある消防団員確保のため、伊藤選手に一役担っていただくこととなりました。



5 瀬戸市消防団大学生等活動認証制度の運用開始

消防団活動に取り組んだ大学生等に対し、地域社会への貢献を市が認証し、就職活動の支援を行うことにより、消防団員への入団を促進し、地域防災力の向上に繋げることを目的に、平成27年5月1日から瀬戸市消防団大学生等活動認証制度の運用を開始しました。



6 山口分団詰所が完成し、新鋭車両2台を配備

平成28年度から新設される山口分団の詰所が瀬戸市大坪町に完成し、最新鋭の分団車両2台（CD-I型ポンプ車、多機能型搬送車）を配備しました。

新設の詰所は、消防分団の詰所とは思えないほどモダンな外観で、必要にして十分な活動用資機材を備えるほか、地域住民も利用できるような会議室を設けています。



目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・平成27年度一般会計当初予算額	1
・平成27年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況、ガンバレ消防団応援事業所	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～25）

・連区別防火対象物状況	17
・中高層建築物・地階用途別状況	18
・査察実施率の推移	18
・防火管理者選任状況	19
・防火管理講習実施状況	19
・危険物施設等連区別設置状況	20
・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等の10年間の推移	21
・消防関係団体	
・瀬戸市危険物安全協会	22
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	22
・瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	23
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	23
・瀬戸市幼年消防クラブ	24
・防災会	24
・わんわん消防隊、救急安心たまご	25

【第4編】火災統計（P26～35）

・平成26年中の火災発生状況と前年との比較	26
・原因別・用途別火災状況	27
・初期消火実施状況調	27

・ 出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	28
・ 署所別・連区別火災状況	29
・ 曜日別・月別火災状況	30
・ 天候別火災状況	30
・ 時間別火災状況	31
・ 10年間の火災状況	32
・ 10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	32
・ 10年間の住宅火災の状況	33
・ 10年間の住宅火災における出火原因別件数	33
・ 10年間の住宅火災における時間別死傷者数	34
・ 10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	34
・ 10年間の主な火災	35

【第5編】救急・救助統計（P36～45）

・ 事故種別救急出動件数及び搬送人員	36
・ 署所別救急出動件数	37
・ 連区別の老年人口率と救急搬送率	37
・ 曜日別・月別救急出動件数	38
・ 時間別救急出動件数	38
・ 傷病程度別搬送人員	39
・ 年齢区分別搬送人員	39
・ 急病にかかる疾病分類別搬送人員調	40
・ 事故種別医療機関別搬送人員調	40
・ 救急隊員の行った応急処置状況	41
・ 応急手当普及啓発実施状況	41
・ 救命率の推移	42
・ バイスタンダーCPR実施状況	42
・ AEDステーション認定事業所数	42
・ 10年間の現場到着平均所要時間の推移	42
・ 10年間の救急出動件数	43
・ 急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	43
・ 事故別救助出動状況	44
・ 連区別救助出動件数	44
・ 発生場所別救助人員	45
・ 10年間の救助出動件数	45

【第6編】通信・気象（P46～49）

・ 消防指令センターの主な施設状況	46
・ 月別119番受信状況（受信時の種別）	46
・ 無線施設状況	47
・ 月別気象状況	49
・ 天候別日数調・月別気温状況・月別湿度状況	49

【第7編】資料（P50～54）

・ 消防本部の沿革	50
・ 消防相互応援協定	54

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4 年		市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
平成28年		4月1日現在	111.40	130,676	54,388



第1編

消防情勢

5年間の市当初予算等と消防費

(単位：千円)

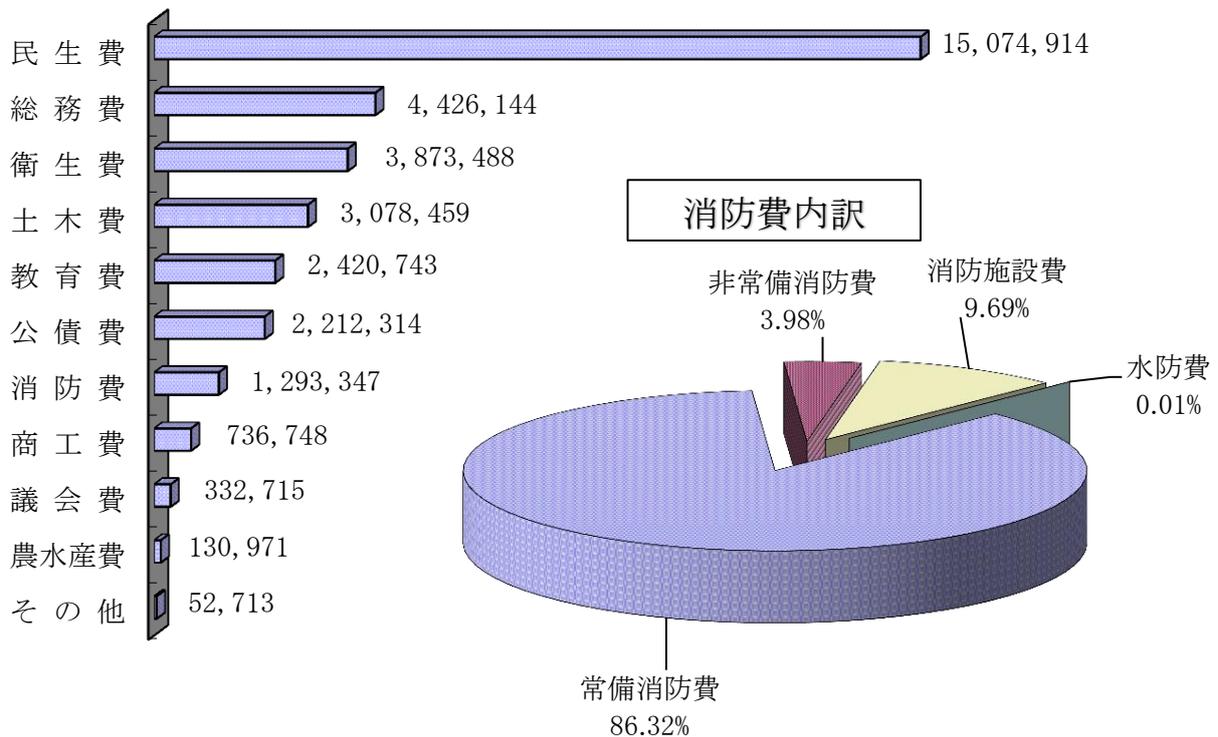
区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般 会計 との 比率 (%)	消防費基準 財政需要額	消防費と 消防費基 準財政需 要額との 比 (%)
			常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費			
23	32,750,000	1,287,458	1,089,867	46,849	150,652	90	3.9	1,488,491	86.5
24	32,300,000	1,446,176	1,093,088	44,899	308,099	90	4.5	1,501,601	96.3
25	33,210,000	1,187,020	1,067,255	44,105	75,570	90	3.6	1,442,297	82.3
26	36,260,000	1,170,033	1,093,955	46,164	29,824	90	3.2	1,482,387	78.9
27	34,920,000	1,299,809	1,096,319	48,477	154,923	90	3.7	1,492,640	87.1

(予算現額)

平成28年度一般会計当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般会計 との比率 (%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	
28	33,890,000	1,293,347	1,116,430	51,517	125,310	90	3.8

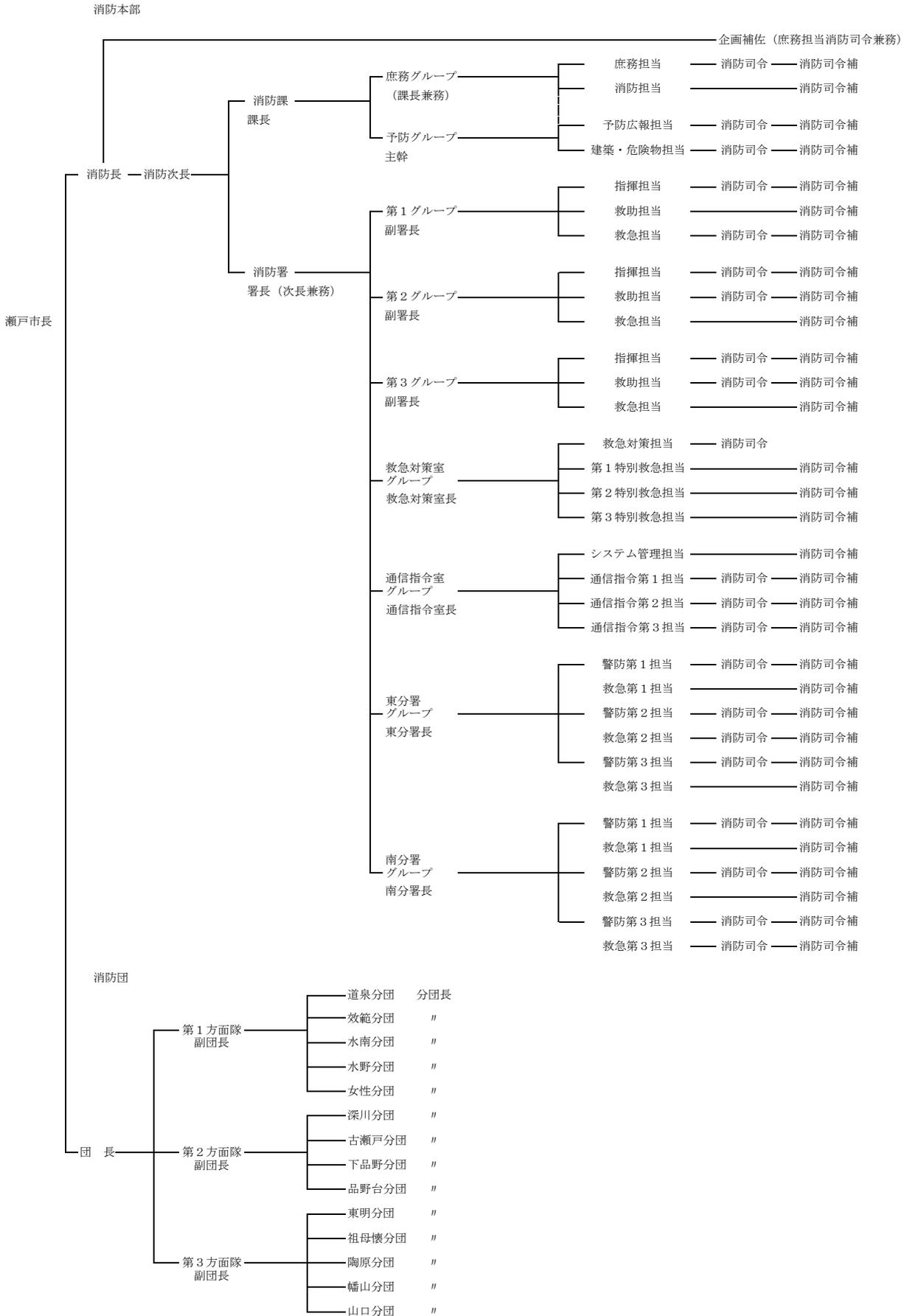


平成28年度消防費の市民負担額

市民1人当たりの額	1世帯当たりの額
9,897 円	23,780 円

消防本部・消防署・消防団組織図

(平成28年4月1日現在)



消 防 本 部 消 防 課 の 事 務 分 掌

- 1 消防職員の任免その他の人事に関する事。
- 2 消防職員及び消防団員の教養計画に関する事。
- 3 行政組織及び事務の委任配分に関する事。
- 4 予算に関する事。
- 5 規則等の制定又は改廃に関する事。
- 6 文書取扱い及び文書管理の総括に関する事。
- 7 公印取扱いの総括に関する事。
- 8 消防職員の福利厚生に関する事。
- 9 消防関係施設の管理に関する事。
- 10 消防団に関する事。
- 11 消防職員委員会に関する事。
- 12 消防部隊の統制に関する事。
- 13 消防相互応援協定に関する事。
- 14 消防水利の計画及び管理に関する事。
- 15 消防計画に関する事。
- 16 消防資機材の管理に関する事。
- 17 儀式及び消防行事に関する事。
- 18 火災予防の指導及び普及に関する事。
- 19 予防救急に関する事。
- 20 火災、救急等の報告に関する事。
- 21 消防統計に関する事。
- 22 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 23 防火対象物の調査及び指導に関する事。
- 24 建築許可等の同意に関する事。
- 25 防災管理の指導に関する事。
- 26 危険物の規制に関する事。
- 27 液化石油ガス等の保安に関する事。
- 28 火薬類の貯蔵及び消費に係る保安に関する事。
- 29 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に関する事。
- 30 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会に関する事。
- 31 瀬戸市危険物安全協会に関する事。
- 32 瀬戸市自衛消防連絡協議会に関する事。
- 33 消防課の庶務に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

- 1 消防署の業務の管理に関する事。
- 2 防火訓練の指導に関する事。
- 3 消防広報活動に関する事。
- 4 火災及び災害の警戒及び防御に関する事。
- 5 救助活動に関する事。
- 6 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 7 消防相互応援の実施に関する事。
- 8 消防団の訓練指導に関する事。
- 9 消防水利の整備保全に関する事。
- 10 消防機械器具、防災資器材及び救急資器材の整備保全に関する事。
- 11 救急業務及び救急高度化に関する事。
- 12 救急の報告に関する事。
- 13 応急手当の普及に関する事。
- 14 火災、救急等の受信及び出動指令の伝達に関する事。
- 15 愛知県広域災害救急医療情報システムの運用に関する事。
- 16 気象情報及び災害情報に関する事。
- 17 火災警報に関する事。
- 18 高度情報通信ネットワークの運用に関する事。
- 19 通信施設の整備保全に関する事。
- 20 その他消防情報に関する事。
- 21 消防署の庶務に関する事。

消 防 力 の 整 備 指 針 と 現 有 消 防 力

1 施 設

平成28年4月1日現在

	整 備 指 針	現 有 数	充 足 率 (%)
施 設	3	3	100.0

2 車 両

車 両	整 備 指 針 (台) (非常用を除く)	現 有 数 (台) (非常用を除く)	充 足 率 (%)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	7	100.0
は し ご 自 動 車	2	1	50.0
化 学 消 防 車	1	1	100.0
救 助 工 作 車	1	1	100.0
指 揮 車	1	1	100.0
救 急 車	6	4	66.7
特 殊 車 等	10	10	100.0
合 計	28	25	89.3

3 人 員

	整 備 指 針 (人)	現 有 人 員 (人)	充 足 率 (%)	
指 揮 隊 員	10	98	51.6	
消 防 隊 員	103			
救 急 隊 員	60			
救 助 隊 員	17			
(小 計)	190	98	51.6	
通 信 員	8	8	100.0	
予 防 要 員 (専従) (兼務)	18	25	18	72.0
	7			
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	13	13	100.0	
合 計	229	130	56.8	

※ 現有人員130人の内、再任用人員7人

消 防 職 員 数

平成28年4月1日現在

所 属 別		階 級 別	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	再 任 用
合 計			123 (2)	1	9 (1)	21 (1)	31	31	11	18		7
消 防 本 部	消 防 長		1	1								
	消 防 次 長		1		1							
	企 画 補 佐		1			1						
	消 防 課	消 防 課 長		1		1						
		グ ル ー プ	庶 務 担 当	3 (1)			(1)	1	2			
			消 防 担 当	2				1	1			
		予 防 課	主 幹		1		1					
			予 防 広 報 担 当		4			1	1	2		
			建 築 ・ 危 険 物 担 当		4			1	1	1	1	
	派 遣 職 員 等		2					2				
小 計			20 (1)	1	3	3 (1)	4	8	1			2
消 防 署	署 長		(1)		(1)							
	第 1 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当		2			1	1				
		救 助 担 当		5				1	1	2	1	
		救 急 担 当		4			1		1		2	
	第 2 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当		2			1	1				
		救 助 担 当		5			1	1	2		1	
		救 急 担 当		4				1	1	1	1	
	第 3 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当		2			1	1				
		救 助 担 当		5			1	1	1	1	1	
		救 急 担 当		4				1	1	1	1	
	救 急 対 策 室	救 急 対 策 室 長		1		1						
		救 急 対 策 担 当		2			1		1			
		第 1 特 別 救 急 担 当		3				1	1	1		
		第 2 特 別 救 急 担 当		3				1	1	1		
		第 3 特 別 救 急 担 当		3				1	1	1		
	小 計			48 (1)		3 (1)	7	11	11	8	7	
	通 信 指 令 室	通 信 指 令 室 長		1		1						
シ ス テ ム 管 理 担 当		1				1						
通 信 指 令 第 1 担 当		2			1	1						
通 信 指 令 第 2 担 当		2			1	1						
通 信 指 令 第 3 担 当		2			1	1						
小 計			8		1	3	4					
東 分 署 グ ル ー プ	東 分 署 長		1		1							
	警 防 第 1 担 当		5			1	1	1		2		
	救 急 第 1 担 当		3				1	1		1		
	警 防 第 2 担 当		5			1	1	1		2	1	
	救 急 第 2 担 当		3			1	1	1				
	警 防 第 3 担 当		4			1	1	1		1	1	
	救 急 第 3 担 当		3				1	1	1			
小 計			24		1	4	6	6	1	6	2	
南 分 署 グ ル ー プ	南 分 署 長		1		1							
	警 防 第 1 担 当		4			1	1	1		1	1	
	救 急 第 1 担 当		3				1	1	1			
	警 防 第 2 担 当		4			1	1	1		1	2	
	救 急 第 2 担 当		3				1	1		1		
	警 防 第 3 担 当		5			1	1	1		2		
救 急 第 3 担 当		3			1	1	1					
小 計			23		1	4	6	6	1	5	3	

※消防職員合計数には、再任用職員を含まず。

() 内は兼務職員数

消 防 団 員 数

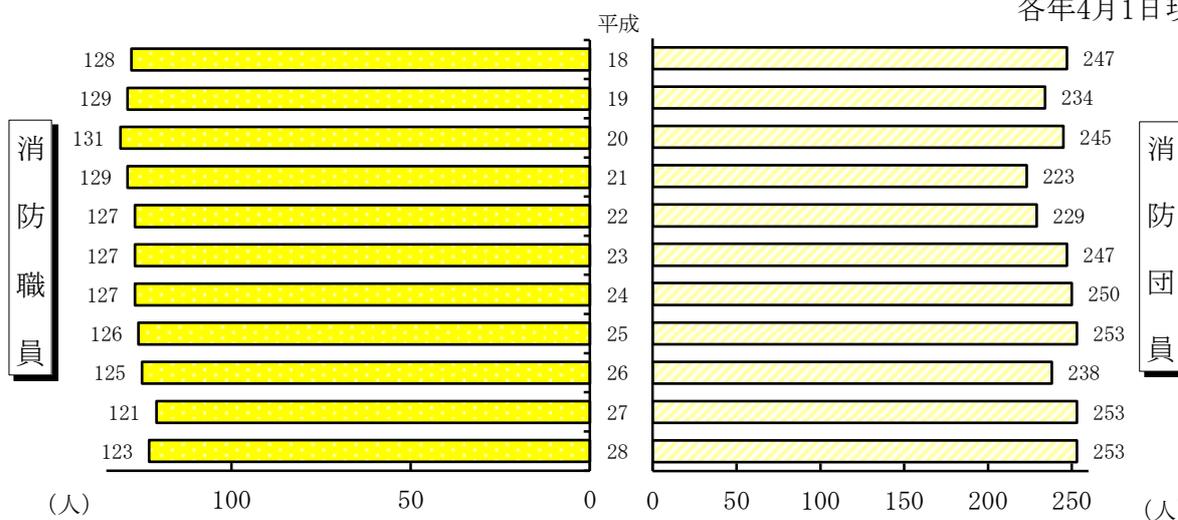
平成28年4月1日現在

階級別 分団別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	253	1	3	14	27	27	27	154 ③
団 本 部	4	1	3					
道 泉 分 団	20			1	2	2	2	13 ④
深 川 分 団	17			1	2	2	2	10 ③
古瀬戸分団	18			1	2	2	2	11 ⑤
東 明 分 団	18			1	2	2	2	11 ⑤
祖母懐分団	16			1	2	2	2	9 ①
陶 原 分 団	17			1	2	2	2	10 ①
效 範 分 団	18			1	2	2	2	11 ②
水 南 分 団	17			1	2	2	2	10 ④
水 野 分 団	18			1	2	2	2	11 ②
下品野分団	19			1	2	2	2	12 ④
品野台分団	22			1	2	2	2	15
幡 山 分 団	16			1	2	2	2	9 ②
山 口 分 団	16			1	2	2	2	9
女 性 分 団	17			1	1	1	1	13

○災害支援団員数（内数）

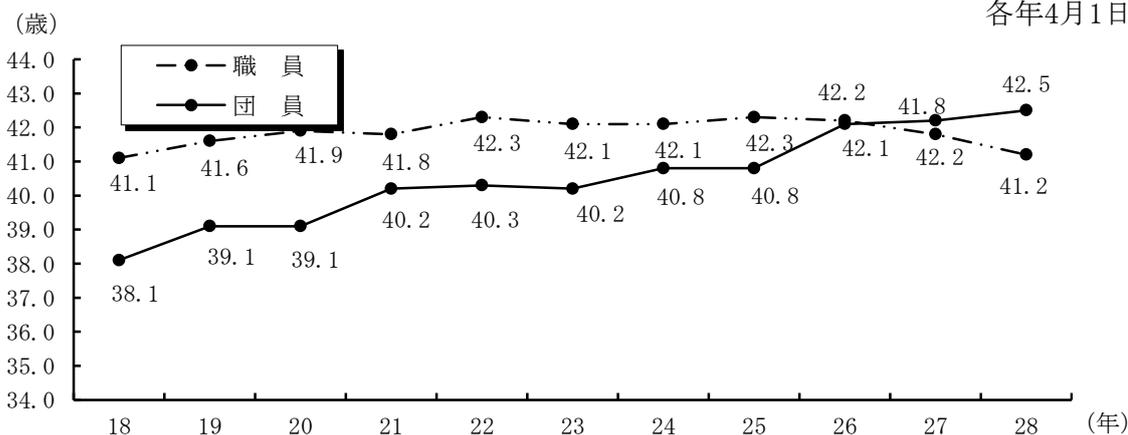
消 防 職 員 ・ 団 員 数 の 推 移

各年4月1日現在



消 防 職 員 ・ 団 員 の 平 均 年 齢 の 推 移

各年4月1日現在



消防職員派遣教養科目別実施状況

【県消防学校等】

科目		年度	合計	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
幹部科	初級		3			1			1			1	
	中級		4	1			1			1			1
	上級		3		1			1			1		
警防科			7		1		1		1	1	1	1	1
救助科			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急科	I 課程		0										
	II 課程		0										
	標準課程		30	4	3	3	2	2	4	2	3	3	4
はしご自動車等運用科			5	1		1			1			1	1
指導員養成科			0										
初任科			28	2	3	3	3	1	4	3	3	3	3
予防科	危険物課程		3		1			1			1		
	予防課程		0										
	火災調査課程		2						1			1	
	査察課程		4	1			1			1			1
特殊災害科			3	1		1		1					
地震防災科			7	1	1			1		1	1	1	1
新任消防長(行政出身)科			1			1							
小隊長科			2			1			1				
指揮隊科			3								1	1	1
外傷・災害対応講習			13			1	4	4			2		2
合計			128	12	11	13	13	12	14	10	14	13	16

【救急救命士養成関係】 ()内は平成28年4月1日現在の救命士数

科目		年度	合計	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
救急救命士養成	救命士合計(32)		10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士気管挿管養成	(10)		9		1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士薬剤投与養成	(21)		20	2		5	5	3	1	1	1	1	1
合計			39	3	2	7	7	5	3	3	3	3	3

【消防大学校】

科目		年度	合計	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
上級幹部科			1							1			
幹部科(旧幹部研修科)			2		1	1							
警防科			2	1			1						
予防科			1						1				
救急科			0										
救助科			3							1		1	1
火災調査科			2					1			1		
講習会等			7	1			1	1	1		1	1	1
新任消防長科			2			1							1
合計			20	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3

消防職員研修実施状況

内容		年度	合計	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
市職員研修	回数		185	14	18	20	17	10	12	18	18	29	29
	人数		493	25	30	74	42	19	32	44	34	98	95
警防関係	回数		67	8	8	7	9	15	8	5	2	2	3
	人数		707	55	39	41	209	315	25	8	7	4	4
救急・救助関係	回数		214	15	16	17	16	30	12	13	18	53	24
	人数		1,882	249	95	109	121	131	33	235	275	323	311
予防関係	回数		113	8	10	15	14	8	11	16	13	9	9
	人数		166	14	14	19	17	13	12	25	27	13	12
通信関係	回数		17	0	3	2	2	3	0	1	1	3	2
	人数		46	0	5	3	2	3	0	13	2	13	5
その他	回数		70	9	13	9	12	4	4	2	0	6	11
	人数		107	11	19	14	21	5	4	3	0	9	21
合計	回数		666	54	68	70	70	70	47	55	52	102	78
	人数		3,401	354	202	260	412	486	106	328	345	460	448

消防職員・団員公務災害等発生状況

内容		年度	計	小計	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
消防活動中	職員		6	6	2		1		2		1			
	団員		0	0										
救急活動中	職員		5	5	1					1	2	1		
	団員		0	0										
調査活動中	職員		0	0										
	団員		0	0										
訓練中	職員		13	1			1							
	団員		12	12	1	1	1	1		1	2	4		1
作業中	職員		6	3				1						
	団員		3	3		1			1				1	
その他	職員		8	2						2				
	団員		6	6		1	1					2		2
通勤災害	職員		1	1			1							
	団員		0	0										
合計	職員		18	18	3	0	2	2	4	3	3	1	0	0
	団員		21	21	1	3	2	1	1	1	2	6	1	3
	計		39	39	4	3	4	3	5	4	5	7	1	3

消 防 本 部 車 両 運 用 状 況

平成27年中

区 別 車両別	火 災 出 動			救急出動		救助出動		警戒出動		風水害出動		訓練出動		警防調査		火災調査		検査・査察		広報活動		一般事務		その他の出動		走行距離 km
	回数	人員	放水	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
			回数																							
合 計	132	446	37	6,720	21,388	208	702	190	643	0	0	301	794	287	867	22	71	583	1,321	887	2,397	2,082	3,390	1,100	2,476	152,876
ポンプ 1号車	2	6	0	615	2,162	1	3	1	3	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	1	3	3,029
タンク 2号車	22	85	13	36	121	17	53	34	127	0	0	12	47	5	17	0	0	0	0	0	0	5	17	17	58	1,259
化 学 3号車	0	0	0	6	22	2	6	20	75	0	0	2	5	3	11	0	0	0	0	7	23	9	23	18	50	910
タンク 5号車	11	41	4	64	216	24	88	50	171	0	0	13	44	54	180	5	15	48	161	152	497	55	188	127	433	6,089
タンク 6号車	15	57	7	54	181	18	64	34	113	0	0	8	28	56	185	1	3	27	88	120	401	46	149	113	362	6,008
ポンプ 8号車	7	23	2	277	898	2	6	0	0	0	0	0	0	64	203	0	0	4	12	1	3	0	0	7	20	3,328
ポンプ 9号車	15	54	5	425	1,333	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2,513
ポンプ 10号車	13	48	4	30	105	5	15	0	0	0	0	13	46	56	188	5	17	33	115	1	3	21	69	77	223	2,427
空 活 31号車	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	25	48	577
梯 子 32号車	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	14	372
救 助 43号車	0	0	0	1	3	59	229	0	0	0	0	14	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	878
指 揮 51号車	28	86	0	15	44	68	207	50	151	0	0	74	223	4	12	3	10	1	3	428	1,269	122	370	58	175	12,364
指 令 52号車	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	17	55	0	0	2	8	184	375	11	17	179	346	57	148	6,394
広 報 61号車	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	13	23	10	20	1	3	116	236	1	4	217	311	99	156	6,267
広 報 62号車	0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	11	19	5	7	0	0	1	1	46	50	343	384	63	85	6,751
広 報 64号車	1	2	0	10	40	1	8	0	0	0	0	38	77	3	6	2	7	73	148	2	6	230	370	129	233	13,147
輸 送 71号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	19	0	0	0	0	2	4	0	0	21	42	28	50	2,234
積 載 72号車	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	5	8	1	1	1	2	2	4	5	6	98	109	70	80	2,583
連 絡 73号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	12	0	0	0	0	2	4	0	0	180	319	23	44	5,297
査 察 74号車	1	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	12	18	4	8	1	1	73	145	3	3	185	268	55	93	5,918
輸 送 75号車	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	6	9	1	2	0	0	2	3	3	5	81	94	52	59	2,356
査 察 76号車	4	4	0	0	0	4	7	0	0	0	0	20	41	18	19	1	5	13	18	107	110	282	310	58	102	10,203
水 槽 77号車	2	6	1	0	0	0	0	1	3	0	0	6	14	2	4	0	0	2	4	0	0	2	5	9	20	433
救 急 1号車	6	18	0	1,861	5,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,853
救 急 2号車	0	0	0	1,091	3,426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,907
救 急 3号車	0	0	0	875	2,769	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,932
救 急 5号車	1	3	0	1,358	4,266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	4	14,847

消 防 団 活 動 状 況

平成27年中

区 分 分 団 別	合計		火災出動			水防活動 及び 警戒活動		訓練出動		広報出動		その他		走行 距離 Km
			回数	人員	回数	人員	回数	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合 計	1,649	10,685	99	643	10	58	718	989	6,118	215	1,945	288	1,261	8,512
うち支援団員	(35)	(69)	(30)	(56)		(2)	(6)	(3)	(7)					
うち女性消防団員	(127)	(240)						(119)	(232)			(8)	(8)	
消防団本部	369	1190	25	49		2	7	261	745	14	41	67	348	415
うち女性消防団員	127	240						(119)	(232)			(8)	(8)	
道泉分団	122	651	8	66	2	4	41	82	370	5	40	23	134	982
うち支援団員	(5)	(10)	(4)	(9)				(1)	(1)					
深川分団	179	1319	4	30		4	57	125	1040	9	77	37	115	512
うち支援団員														
古瀬戸分団	106	411				4	47	73	218	14	100	15	46	703
うち支援団員														
東明分団	76	562				4	39	45	300	24	192	3	31	708
うち支援団員														
祖母懐分団	107	853	4	27		4	54	54	430	22	288	23	54	324
うち支援団員	(2)	(2)	(2)	(2)										
陶原分団	81	644	9	79		5	71	43	272	13	182	11	40	833
うち支援団員														
效範分団	139	758	11	58		5	64	65	381	24	162	34	93	711
うち支援団員	(6)	(9)	(6)	(9)										
水南分団	96	497	11	38		5	39	32	226	23	125	25	69	1088
うち支援団員	(4)	(7)	(3)	(4)		(1)	(3)							
水野分団	123	1049	9	104	3	4	52	59	518	22	187	29	188	983
うち支援団員	(3)	(5)	(3)	(5)										
下品野分団	100	867	7	73	3	5	55	57	510	22	181	9	48	379
うち支援団員	(10)	(29)	(7)	(20)		(1)	(3)	(2)	(6)					
品野台分団	75	938	3	32	2	5	77	48	578	12	194	7	57	874
うち支援団員														
幡山分団	76	946	8	87		7	115	45	530	11	176	5	38	
うち支援団員	(5)	(7)	(5)	(7)										

うち女性消防団員内は、訓練出動は救命講習及びその他は暮らしのあんしん訪問の回数・人員のみを計上。

ガンバレ消防団応援事業所

ガンバレ消防団応援事業所とは、市内の事業所や販売店の皆様が、応援事業所として消防団員に各種サービスや割引等の提供を行ったり、消防団員募集ポスターを事業所内に掲出するなど、様々な形で消防団を応援していただく事業所のことで、地域の方々に「消防団」をアピールし、消防団の認知度を高めつつ、事業所の皆様には、社会貢献のイメージアップと顧客としての消防団員の集客率を高める効果が期待できます。

平成22年10月1日運用開始

平成28年8月末現在 登録事業所数：279箇所（公共施設92箇所含む）

第2編

消防施設

消 防 庁 舎 等 設 置 状 況

平成28年4月1日現在

区分	名 称	建 築 年 月 日	構 造	延 床 面 積 (敷 地 面 積)	所 在 地
消 防 庁 舎	消 防 本 部 消 防 署	S 47. 7. 31 (増築S62.2.28)	R・C造3階建 一 部 5 階 建	1,622.52㎡ (3241.84㎡)	苗場町101
	消 防 署 東 分 署	H 1. 10. 14	R・C造2階建 一 部 地 下 1 階	934.81㎡ (2698.04㎡)	品野町1-190-1
	〃 訓 練 塔	H 1. 10. 14	S 造 4 階 建	135.36㎡	品野町1-190-1
	消 防 署 南 分 署	H 3. 3. 1	R・C造2階建	590.98㎡ (2331.99㎡)	南山口町143
消 防 分 団 詰 所	道 泉 分 団	H 27. 3. 29	R・C造2階建	177.34㎡ (347.85㎡)	西谷町6
	深 川 分 団	S 35. 2. 1	R・C造2階建	115.35㎡ (170.27㎡)	宮脇町32
	古 瀬 戸 分 団	S 55. 3. 31	R・C造2階建	75.47㎡ (280.98㎡)	西古瀬戸町8-3
	東 明 分 団	H 4. 3. 22	R・C造2階建	145.00㎡ (741.89㎡)	西窯町94
	祖 母 懐 分 団	H 15. 2. 28	R・C造2階建	152.50㎡ 祖母懐公民館併設	上ノ切町43
	陶 原 分 団	S 60. 9. 30	R・C造2階建	99.32㎡ (244.48㎡)	陶原町2-44-1
	效 範 分 団	H 18. 3. 1	R・C造2階建	128.70㎡ (245.33㎡)	汗干町81-20
	水 南 分 団	S 60. 3. 30	R・C造2階建	98.53㎡ (453.65㎡)	北松山町1-63-2
	水 野 分 団	S 53. 12. 15	R・C造2階建	88.41㎡ (539.43㎡)	中水野町1-155
	下 品 野 分 団	H 9. 3. 5	S・R・C造2階建	152.50㎡ (401.00㎡)	品野町6-108-1
	品 野 台 分 団	S 63. 3. 27	R・C造2階建	108.50㎡ (322.52㎡)	上品野町335-3
	幡 山 分 団	S 56. 3. 31	R・C造2階建	73.31㎡ 幡山公民館併設	幡山町71
山 口 分 団	H 28. 3. 7	R・C造2階建	222.50㎡ (600.62㎡)	大坪町113-2	
水 防 倉 庫 等	消 防 署 水 防 倉 庫	消 防 署 併 設		19.70㎡	苗場町101
	消 防 署 倉 庫	H 7. 3. 8	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	苗場町101
	防 災 資 機 材 地 域 備 蓄 倉 庫	H 7. 10. 6	S 造 平 屋 建	165.60㎡	苗場町101
	東 分 署 水 防 倉 庫	東 分 署 併 設		13.00㎡	品野町1-190-1
	南 分 署 倉 庫	S 62. 11. 20	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	南山口町143
	東 明 水 防 倉 庫	東 明 分 団 詰 所 併 設		27.00㎡	西窯町94
	陶 原 水 防 倉 庫	瀬 戸 蔵 併 設		22.44㎡	蔵所町1-1
	效 範 水 防 倉 庫	效 範 分 団 詰 所 併 設		22.50㎡	汗干町81-3
	水 野 水 防 倉 庫	水 野 分 団 詰 所 併 設		17.01㎡	中水野町1-155
	品 野 水 防 倉 庫	S 61. 7. 31	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	品野町6-116
	幡 山 水 防 倉 庫	S 58. 1. 10	C・B造平屋建	39.32㎡	幡山町71
	上 半 田 川 倉 庫	S 63. 2. 22	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	上半田川町345
	片 草 倉 庫	H 1. 1. 16	コ ン テ ナ 式	14.64㎡	片草町226-5
下 半 田 川 倉 庫	H 1. 9. 29	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	下半田川町843-1	
道 泉 倉 庫	H 27. 3. 29	コ ン テ ナ 式	8.94㎡	西谷町6	
器 具 庫	水 南 器 具 庫	水 南 分 団 詰 所 併 設		16.80㎡	北松山町1-63-2
	陶 原 器 具 庫	陶 原 分 団 詰 所 併 設		12.60㎡	陶原町2-44-1

消 防 車 両 等 配 備 状 況

平成28年4月1日現在

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 署	ポンプ 1 号	ポンプ車	平 2 3 年 1 2 月	4	4.56 L	CD- I	電動ホースカー付
	タンク 2 号	タンク車	平 2 1 年 3 月	7	6.40 L	水 II 型	水 2,000 L
	化学 3 号	化学車	平 6 年 1 2 月	22	7.41 L	化学 II 型	水 1,300 L 薬液 500 L
	ポンプ 10 号	ポンプ車	平 9 年 3 月	19	7.96 L	CD- II	救助資器材積載
	梯子 3 2 号	梯子車	平 9 年 1 2 月	18	20.78L	3 0 M 級	
	救助 4 3 号	救助工作車	平 1 8 年 1 1 月	9	6.40 L	II 型	電源照明付 ウインチ付
	指揮 5 1 号	指揮車	平 2 8 年 2 月	0	2.26 L		
	指揮 5 2 号	査察車	平 1 7 年 2 月	10	2.36 L		
	広報 6 1 号	広報車	平 2 7 年 2 月	1	1.49 L		
	広報 6 4 号	広報車	平 1 4 年 1 0 月	13	1.99 L		
	輸送 7 1 号	輸送車	平 1 8 年 8 月	9	4.89 L		
	連絡 7 3 号	連絡車	平 1 5 年 1 月	13	1.76 L		
	査察 7 4 号	査察車	平 1 3 年 2 月	15	1.76 L		
	救急 1 号	救急車	平 2 2 年 8 月	5	3.49 L	高規格	
	救急 2 号	救急車	平 2 5 年 3 月	3	2.69 L	高規格	
	動 - 2	可搬動力ポンプ	平 1 7 年 1 0 月	9	175 cc	C-1	
	動 - 6	可搬動力ポンプ	平 1 9 年 9 月	8	175 cc	C-1	
	動 - 9	可搬動力ポンプ	平 3 年 9 月	25	175 cc	C-1	
動 - 1 5	可搬動力ポンプ	平 2 4 年 1 月	4	635 cc	B-3		
東 分 署	タンク 6 号	タンク車	平 2 4 年 2 月	4	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (C A F S)
	ポンプ 8 号	ポンプ車	平 1 1 年 1 2 月	16	4.57 L	CD- I	電動ホースカー付
	積載 7 5 号	積載車	平 2 0 年 1 0 月	7	2.95 L		
	査察 7 6 号	査察車	平 2 1 年 8 月	6	1.99 L		
	水槽 7 7 号	水槽車	平 1 5 年 1 0 月	12	10.52 L	付水 II	水 10,000 L
	救急 3 号	救急車	平 2 8 年 3 月	0	3.37 L	高規格	
	動 - 1 4	可搬動力ポンプ	平 7 年 3 月	22	198 cc	C-1	
	動 - 1 9	可搬動力ポンプ	昭 6 3 年 1 月	28	198 cc	C-1	
南 分 署	タンク 5 号	タンク車	平 2 3 年 2 月	5	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (C A F S)
	ポンプ 9 号	ポンプ車	平 1 2 年 1 0 月	15	4.57 L	CD- I	電動ホースカー付
	空活 3 1 号	空中活動車	平 2 6 年 3 月	2	4.00 L	1 5 M 級	
	広報 6 2 号	広報車	平 2 0 年 8 月	7	0.65 L		
	積載 7 2 号	可搬積載車	平 1 3 年 1 0 月	14	3.15 L		動-4積載
	救急 5 号	救急車	平 2 4 年 3 月	4	3.49 L	高規格	
	動 - 4	可搬動力ポンプ	平 1 3 年 1 2 月	14	635 cc	B-3	積載 7 2 号
	動 - 1 6	可搬動力ポンプ	平 2 4 年 1 月	4	200 cc	C-1	

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 団 等	道 泉 分 団	ポ ン プ 車	平 1 0 年 1 2 月	17	4.56 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 3 年 1 0 月	24	175 cc	C-1	
	深 川 分 団	ポ ン プ 車	平 1 1 年 1 月	16	5.24 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	4	200 cc	C-1	
	古 瀬 戸 分 団	ポ ン プ 車	平 1 2 年 1 0 月	15	5.24 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 1 7	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	2	200 cc	C-1	
	東 明 分 団	ポ ン プ 車	平 1 7 年 1 月	11	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 3 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 2 年 7 月	5	0.65 L		
	動 - 1 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 5 年 9 月	22	175 cc	C-1	
	祖 母 懐 分 団	ポ ン プ 車	平 1 0 年 1 月	18	4.56 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 2 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	0	200cc	C-1	
	陶 原 分 団	ポ ン プ 車	平 9 年 1 月	19	4.56 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 1 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	2	200 cc	C-1	
	效 範 分 団	ポ ン プ 車	平 1 3 年 1 1 月	14	5.24 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 2 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	1	198 cc	C-1	
	水 南 分 団	ポ ン プ 車	平 1 8 年 2 月	10	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 2 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	0	200 cc	C-1	
	水 野 分 団	ポ ン プ 車	平 2 2 年 2 月	6	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 1 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 0 年 1 1 月	7	0.65 L		
	動 - 1 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	1	198 cc	C-1	
	下 品 野 分 団	ポ ン プ 車	平 1 9 年 1 2 月	8	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 4 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 4 年 2 月	4	0.65 L		
	動 - 1 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 2 年 1 1 月	15	175 cc	C-1	
	品 野 台 分 団	ポ ン プ 車	平 1 5 年 2 月	13	4.77 L	CD- I	絡車付 定員 8 名 4WD
	搬 送 5 号	資 機 材 搬 送 車	平 1 3 年 2 月	15	0.65 L		
	動 - 1 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	4	200 cc	C-1	
	幡 山 分 団	ポ ン プ 車	平 2 3 年 1 月	5	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 2 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 1 年 1 0 月	6	0.65 L		
	動 - 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 6 月	17	198 cc	C-1	
	山 口 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 3 月	0	4.00 L	CD- I	
	搬 送 6 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 8 年 2 月	0	0.65 L		
	動 - 2 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 4 月	0	526cc	B-3	
	上半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	16	635 cc	B-3	
下半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 3 年 1 月	15	635 cc	B-3		
定光寺町自警団	資 機 材 搬 送 車	平 1 5 年 1 0 月	12	0.65 L			
定光寺町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	16	635 cc	B-3		
片草町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	昭 5 9 年 1 1 月	30	508 cc	B-3		
白岩町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 2 月	18	635 cc	B-3		

※絡車=ホースカー

主 な 消 防 機 器 保 有 状 況

平成28年4月1日現在

分類	用途	品名	総数	分類	用途	品名	総数	
消 火 活 動 資 機 材	放	ホース 65ミリ	278	救 助 用 資 機 材	切 断 用 器 具	油圧切断機	2	
		〃 50ミリ	211			エンジンカッター	5	
		〃 40ミリ	57			アーク溶断器	1	
	水	水幕ホース	5			器 具 破 壊	チェーンソー (予備2含む)	5
		水幕金具(予備3含む)	10				エアソー・エアーツール	4
		ホースブリッジ	24				万能斧	21
		フォグガン	25				さく岩機 (予備1含む)	2
		無反動管そう	8				電気ハンマードリル	3
		東消式高発泡器	2				有毒ガス検知器	3
		可搬消防ポンプ	10				放射線測定器	6
救 急 用 資 機 材	救 急 活 動 器 具	自動体外式除細動器 (AED)	8	測 定 用 器 具	放射線個人線量計	24		
		患者監視装置	4		呼吸保護器具	49		
		携帯用酸素蘇生器	7		空気呼吸器	49		
		医療用ボンベ	38		空気ボンベ	140		
	衛 生 用 器 具	保育器	1	呼 吸 保 護 器 具	酸素呼吸器	4		
		救急車室内殺菌装置	1		酸素ボンベ	12		
		救急資材滅菌器	1		送排風機	2		
		救急白衣殺菌ロッカー	4		隊員保護器具	2		
		自動手指消毒器	1		耐電衣一式 (上衣・ズボン・長靴)	2		
		うがい器	4		耐電手袋	8		
訓 練 人 形	高度処置シミュレーター	4	資 機 材	耐熱服	2			
	静脈採血注射モデル	1		器具検査	2			
	気道管理トレーナー	4		熱画像直視装置	2			
	応急手当普及用人形	37		簡易画像探索器	1			
	AEDトレーナー	23		水難救助器具	12			
	チョーキングマネキン	2		救命胴衣	12			
救 助 用 器 具	一 般	かぎ付はしご	6	機 材	救 助 器 具	救命浮輪 (予備1含む)	2	
		3連はしご	6			救命ボート	1	
		金属製折りたたみはしご	2			山岳救助器具	4	
	救 助 器 具	空気式救助マット	1			そ の 他 の 救 助 器 具	折りたたみ担架 (バスケットストレッチャー)	4
		救命索発射銃	1				山岳用担架	1
		救助用ばく帯・サハバースリング	21				緩降機	3
		集団災害用非常持出担架	15				ロープ登はん機	0
		救助用ロープ12ミリ (200m箱入)	14				投光器 (手持ち35、照明のみ9)	44
		カラビナ	191				発電機 (車載8、予備7)	16
		滑車	16				携帯マイク	17
重 量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ	4	対 応 資 機 材	B C 災 害	携帯無線 (デ20、署41、可5)	66		
	油圧スプレッター	2			陽圧式化学防護服	5		
	可搬ウインチ	2			有毒ガス検知管一式	1		
	ワイヤーロープ	10			除染シャワー	1		
	マット型空気ジャッキ一式	2			除染剤散布器	2		
	チェーンブロック (積載外)	1			そ の 他 の 資 機 材	エアータント (集団災害)	1	
	マンホール救助器具	1				簡易防毒衣	5	
						オイルフェンス	2	
		油処理剤 (シーグリーン15kg入)	16					
		油処理剤 (アルファゲル 9kg入)	16					
		泡消火薬剤 (180缶)	35					

水 防 用 資 機 材 備 蓄 状 況

平成28年4月1日現在

水 防 倉 庫 名		合 計	本 署	東分署	南分署	陶 原	団訓練場	水 野	幡 山	品 野	東 明	效 範	水 南
所 在 地			苗場町	品野町	南山口町	蔵所町	熊野町	中水野町	幡山町	品野町	西窯町	汗干町	北松山町
面 積 (㎡)			19.7	13.0	13.7	16.5	1.6	17.0	39.3	13.7	17.5	17.0	16.8
対 象 河 川			瀬戸川	瀬戸川	矢田川	瀬戸川	瀬戸川	水野川	矢田川	水野川	赤津川	瀬戸川	瀬戸川
主 要 資 材	木 く い (本)	2,422	134	80	60	200	0	220	750	550	200	178	50
	ビ ニ ー ル 袋 (袋)	24,600	1,400	350	1,000	2,000	1,000	3,000	5,000	2,850	3,000	3,000	2,000
	麻 袋 (袋)	1,346	400	10	16	0	0	0	120	0	0	0	800
	か ま す (枚)	750	0	0	0	190	0	100	220	40	100	50	50
	な わ (玉)	146	8	5	6	0	0	5	21	5	10	6	80
	矢 板 (枚)	723	23	0	0	0	0	100	0	200	100	0	300
	8 番 線 (k g)	1,450	50	0	50	100	0	0	400	50	200	0	600
	鉄 く い (本)	998	120	110	70	58	50	0	70	60	140	0	320
	ノ ー リ ッ ツ 番 線 (箱)	44	8	7	5	1	0	0	4	1	1	1	16
主 要 器 材	の こ ぎ り (丁)	121	27	16	12	26	0	0	10	10	20	0	0
	な た の こ セ ッ ト (丁)	37	16	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	な た (丁)	61	31	6	0	14	0	0	10	0	0	0	0
	ハ ン マ ー (丁)	69	30	4	4	4	2	5	0	5	5	5	5
	掛 矢 (丁)	86	17	5	9	20	3	0	10	0	1	0	21
	た こ づ ち (丁)	16	5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	シ ャ ベ ル (丁)	362	145	22	29	65	20	9	12	0	0	0	60
	つ る は し (丁)	58	30	7	1	6	0	1	11	0	2	0	0
	か ま (丁)	137	70	17	22	4	0	5	5	0	4	5	5
	ク リ ッ パ ー (丁)	45	22	6	9	5	0	0	0	0	3	0	0
	し の (丁)	52	25	8	9	10	0	0	0	0	0	0	0
	バ ッ チ く わ (丁)	16	6	0	1	8	0	0	0	0	1	0	0
	防 水 シ ー ト (枚)	187	45	30	46	0	0	16	10	10	10	10	10
	一 輪 車 (台)	13	6	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0
水 防 T 型 マ ッ ト	37	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	26	

消 防 水 利 設 置 状 況

平成28年 4月 1日現在

連 区 別	合 計	防火水槽・貯水槽（公設）				防 火 水 槽 （私設）				消火栓		その他の水利			
		100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	基準 適合	基準 以外	池	プ ール	そ の 他	
道泉	117 (7)			8 (4)	1			3 (3)		77	27		1		
深川	83 (3)			6 (3)	4			1		64	7		1		
古瀬戸	102 (2)			11 (2)	4			1		57	28		1		
東明	121 (10)			13 (8)	2			1 (1)	1 (1)	66	32	1	1	4	
祖母懐	131 (6) ● 1	2 (2) ● 1		12 (4)	4				1	82	28		2		
陶原	180 (11)			16 (5)	4			7 (6)		117	35		1		
長根	251 (11)			13 (6)	1			11 (5)		151	73	1	1		
效範	350 (29) ● 1	2 (2) ● 1		37 (17)				13 (10)		211	83		4		
水南	177 (14)			22 (8)	1	1		16 (6)		80	55		1	1	
水野	440 (24)			29 (16)	12	1	8 (2)	18 (6)	12	232	120	4	3	1	
下品野	203 (11)	2 (1)		18 (10)	6			2	1	108	65		1		
品野	177 (11)			13 (9)	6	1	1	3 (2)	4	85	57	2	4	1	
幡山	497 (26)			28 (15)	6		3 (1)	15 (8)	4 (2)	305	127	1	5	3	
山口	258 (10)			14 (7)	6			9 (3)	2	149	75	2	1		
西陵	163 (9)			15 (6)				2 (2)	1 (1)	133	10		2		
原山台	50 (3)			4 (2)				1 (1)		43	1		1		
萩山台	79 (1)			3 (1)						52	22		2		
八幡台	102 (2)			4 (2)						82	15		1		
合 計	3,481 (190) ● 2	6 (5) ● 2		266 (125)	57	3	12 (3)	103 (53)	26 (4)	2,094	860				
	● 2	329 (130) ● 2				144 (60)				2,954			11	33	10

() 内は耐震性を有する防火水槽又は耐震性貯水槽を示す。●は飲料水兼用を示す。

指 標	単 位	基 準 値	目 標 値	実 績 値
消防水利の充足率	%	98	98.6	98.6

※充足率とは、市街地等をメッシュ区画し、区画内に適合水利が設置されている割合をいう。

第3編

予 防

連 区 別 防 火 対 象 物 状 況

平成28年4月1日現在

項 別	連 区 別	合 計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	台	山	幡	野	野	口	地	野
	合 計	4,573	181	121	123	172	143	341	464	471	231	440	48	74	40	30	230	281	361	424	233	165
1	イ 劇場・映画館	4									3										1	
	ロ 公会堂・集会場	54	1		2	1	4	3	7	7	2	2	2	2	1	1	7	3	5	1	1	2
2	イ キャバレー等	0																				
	ロ 遊 技 場	8						1	1	2	1									2		1
	ハ 性 風 俗 関 連 店 舗	0																				
	ニ カラオケ等 個 室	2							2													
3	イ 料 理 店 等	0																				
	ロ 飲 食 店	65	1		1			4	16	6	7	3					1	1	9	9	1	6
4	百貨店・マーケット	157	2	4	4	1	1	14	28	14	10	11	3	2			1	6	11	24	6	15
5	イ 旅館・ホテル	20		1						2	3	3					3			8		
	ロ 共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	936	20	7	18	9	14	52	111	136	65	24	10	45	27	22	19	33	143	45	96	40
6	イ 病院・診療所	52		3			2	4	2	13	8	2		2		1	4	2	4	2	1	2
	ロ 福 祉 施 設 等 入 所 施 設 等	46		2	4	1		6	7	3	3	4					4	2	5	3	2	
	ハ 福 祉 施 設 等 保 育 所 等	77	2	4	1		1	7	12	9	7	5	4	1	3	2	4	2	5	4	1	3
	ニ 幼 稚 園	12			1				1		2		4	2	1	1						
7	学校・各種学校	179	9	1	6	2	7	25	7	14	9	12	10	2	4	2	32	3	13	1	13	7
8	図書館・美術館等	15		1			1	1			3	1							7		1	
9	イ 特 殊 浴 場	0																				
	ロ イ 以 外 の 公 衆 浴 場	2						2														
10	停 車 場	3	1								1											1
11	神 社 ・ 教 会	71	4	5	5	3	4	3	12	6	3	4	1				4	2	7	3	4	1
12	イ 工 場 ・ 作 業 所	1,307	76	43	52	104	69	79	86	70	32	217	2				86	113	49	161	42	26
	ロ テ レ ビ ス タ ジ オ 等	0																				
13	イ 自 動 車 車 庫	64	1	1	3	3		8	9	6	10	4					3	1	2	6	2	5
	ロ 飛 行 機 の 格 納 庫	0																				
14	倉 庫	445	19	10	8	25	9	25	49	34	11	59	1				21	42	31	71	20	10
15	事 務 所 等	407	7	5	5	17	8	34	41	37	13	60	2	2	1		25	51	30	44	18	7
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	365	27	22	5	1	8	39	42	65	30	15	6	14	3		8	8	19	20	10	23
	ロ 複 合 用 途 (非 特 定)	278	10	10	8	5	15	34	31	47	11	11	3	2		1	7	12	21	20	14	16
16の2	地 下 街	0																				
16の3	準 地 下 街	0																				
17	重 要 文 化 財	1															1					
18	ア ー ケ ード	3	1	2																		
19	指 定 山 林	0																				
20	指 定 舟 車	0																				

中高層建築物・地階用途別状況

平成28年4月1日現在

項別	階別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	地階
		合計	649	151	128	38	22	24	13	9	15	5	4	6	
1	イ	劇場・映画館													
	ロ	公会堂・集会場	2	3											2
2	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場	1	1											1
	ハ	性風俗関連店舗													
	ニ	カラオケ等個室													
3	イ	料理店等													
	ロ	飲食店	5												1
4		百貨店・マーケット	9	4											8
5	イ	旅館・ホテル	3	1	1			1							3
	ロ	共同住宅・寄宿舎	153	63	105	21	17	17	11	8	11	5	4	6	20
6	イ	病院・診療所	9	3	3	2		2		1					
	ロ	福祉施設等	6	3											6
	ハ	福祉施設等	3	1			1		1						3
	ニ	幼稚園	3												2
7		学校・各種学校	50	16	2	2									
8		図書館・美術館等	3												3
9	イ	特殊浴場													
	ロ	イ以外の公衆浴場	1												1
10		停車場													
11		神社・教会	5												4
12	イ	工場・作業所	78	9	2	2									17
	ロ	テレビスタジオ等													
13	イ	自動車車庫	2	1	2										2
	ロ	飛行機等の格納庫													
14		倉庫	40	7	1										10
15		事務所等	56	11	2	2	1								26
16	イ	複合用途(特定)	114	19	5	6	3	4	1		2				18
	ロ	複合用途(非特定)	106	9	5	3					2				11
16の2		地下街													
16の3		準地下街													
17		重要文化財													
18		アーケード													
19		指定山林													
20		指定船車													

査察実施率の推移

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
瀬戸市	4.2	5.2	11.9	12.5	16.4
愛知県	22.0	21.1	21.3	20.5	
全国	21.1	22.1	22.3	21.5	

※ 平成27年度の全国及び愛知県の査察実施率は、平成28年9月末現在日未発表

防 火 管 理 者 選 任 状 況

平成28年4月1日

項別	区 分		防火管理者の選任が必要な防火対象物数	防火管理者の選任届が提出されている防火対象物数	届出率%
	合 計		887	778	88
1	イ	劇場・映画館	4	4	100
	ロ	公会堂・集会場	96	95	99
2	イ	キャバレー等	—	—	—
	ロ	遊 技 場	8	8	100
	ハ	性風俗関連店舗	—	—	—
	ニ	個室を有する店舗	2	2	100
3	イ	料理店等	—	—	—
	ロ	飲 食 店	57	45	79
4	百貨店・マーケット		109	98	90
5	イ	旅館・ホテル	10	10	100
	ロ	共同住宅・寄宿舎	128	110	86
6	イ	病院・診療所	15	14	93
	ロ	福祉施設・更正施設	44	42	95
	ハ	福祉施設・更正施設	46	43	93
	ニ	幼 稚 園	8	8	100
7	学校・各種学校		48	44	92
8	図書館・美術館等		7	7	100
9	イ	特殊浴場	—	—	—
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	2	100
10	停 車 場		—	—	—
11	神 社 ・ 教 会		31	21	68
12	イ	工場・作業所	52	52	100
	ロ	テレビスタジオ等	—	—	—
13	イ	自動車車庫	—	—	—
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—	—
14	倉 庫		5	5	100
15	事 務 所 等		62	59	95
16	イ	複合用途(特定)	134	106	79
	ロ	複合用途(非特定)	18	17	94
16の2	地 下 街		—	—	—
16の3	準 地 下 街		—	—	—
17	重 要 文 化 財		1	1	100
18	ア ー ケ ー ド		—	—	—
19	指 定 山 林		—	—	—
20	指 定 舟 車		—	—	—

防 火 管 理 講 習 実 施 状 況

平成27年度

甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習(三市共同開催)		乙種防火管理講習	
回数	修了者数	回数	修了者数	回数	修了者数
1	63	1	12	1	16

危険物施設等連區別設置状況

平成28年4月1日現在

連區別 施設別		合計	道	深	古	東	祖	陶	長	効	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新		
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	山	幡	野	品	野	口	地	野	郷	
		338	14	4	5	29	3	9	27	16	15	76	0	0	0	0	14	32	13	28	46	7		
危険物施設	製造所	製造所	1									1												
		屋内(特定)	屋内(特定)	43 (8)		1		1		1	2	2		20 (3)					1	1		10 (1)	3 (1)	1
			屋外タンク	34				11						9						10	1	1	2	
		貯蔵所	屋内タンク	33	4	2	1	4	1	2	2	2		5					2	3	1	3	1	
			地下タンク	48	2				1	1	6	3	6	9					3	1	5	3	5	3
			簡易タンク	4				1											3					
			移動タンク	57	6				1	2	7	2	3	7					2	8		2	17	
		取扱所	屋外	6										1								1	4	
			給油(自家用)	給油(自家用)	57 (30)			4 (3)	3 (3)		3 (2)	7 (1)	3 (1)	2 (4)	7				3 (2)	6 (2)	4 (2)	5 (4)	7 (5)	3 (1)
	一般販売			54	2	1		9			3	3	4	17						3	2	3	7	
	貯蔵・取扱数量別	指定数量の5倍以下	145	9	1		9	3	4	12	7	4	37					9	12	7	11	19	1	
		5倍を超え10倍以下	64	3	2	1	8			3	4	4	16					2	4	3	7	4	3	
		10倍を超え50倍以下	91	3	1	1	11			2	7	3	6	13				2	12	1	10	18	1	
		50倍を超え100倍以下	12			1	2						4					1	1			3		
		100倍を超え150倍以下	5							1	1		2						1					
		150倍を超え200倍以下	5										1						2		1	1		
		200倍を超え250倍以下	7			1				1	2	1	1									1		
		250倍を超え300倍以下	8							1	2	1	1							1			2	
300倍を超えるもの		1																	1					
少量危険物施設		519	23	15	17	29	23	35	39	42	18	86	4	4	3	2	39	29	20	64	13	14		
指定可燃物施設		81	2		1	6	1	3	4	4	1	26					7	5	3	14	3	1		
圧縮アセチレンガス施設		4								1		1							1	1				
液化石油ガス施設		993	41	33	51	90	49	49	73	66	44	84	6				69	106	92	49	53	38		
毒物・劇物施設		22		2		1		1		2	1	4						2		3	6			

() 内は再掲

危険物施設に関する申請等の件数

平成27年度

施設区分 申請等の区分		合計	製造所	貯蔵所						取扱所					
				屋内(特定)	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油(自家用)	一般	販売		
合計		104		16	(2)	1	2	7		33	2	16	(4)	27	
許可	設置	9		1				2		2	1	1	(1)	2	
	変更	24		4	(1)		1	1		6		4	(1)	8	
完成検査		34		7	(1)			1		12	1	5	(2)	8	
仮使用承認		16		3			1	1				3		8	
廃止・転出		19				1		2		13		2		1	
予防規程認可		1										1			
完成検査前検査		1		1											

仮貯蔵・仮取扱承認

1

() 内は再掲

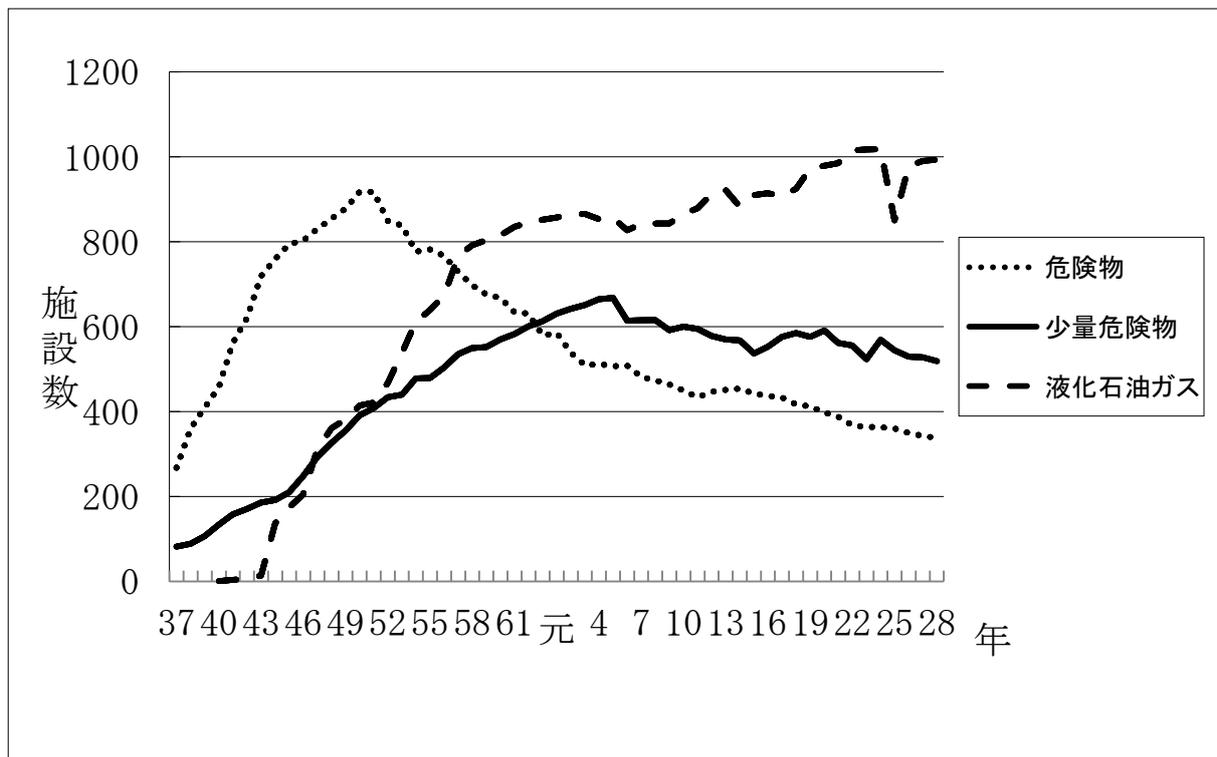
危険物施設等の10年間の推移

各年度4月1日現在

年度別 施設別		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
危険物施設	製造所	412	398	388	368	364	363	360	350	343	338	
	貯蔵所	屋内(特定)	41 (10)	40 (9)	38 (8)	38 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	41 (8)	43 (8)
		屋外タンク	39	36	37	37	37	36	36	35	35	34
		屋内タンク	45	41	40	40	36	36	33	33	33	33
		地下タンク	59	56	55	53	52	54	51	48	48	48
		簡易タンク	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		移動タンク	90	88	83	71	73	73	72	68	64	57
		屋外	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6
	取扱所	給油(自家用)	67 (31)	69 (33)	67 (33)	64 (31)	63 (30)	61 (30)	62 (31)	60 (30)	58 (29)	57 (30)
		一般	60	58	58	55	53	53	56	56	53	54
		販売	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
少量危険物施設		576	591	562	556	523	569	554	529	528	519	
液化石油ガス施設		972	979	985	1015	1017	1018	850	978	990	993	

() 内は再掲

危険物施設等の推移



消 防 関 係 団 体

瀬 戸 市 危 険 物 安 全 協 会

この協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与する目的で昭和32年4月に設立されました。

防火広報活動、各種予防運動の主催及び講演会並びに各種講習会を開催し、危険物等の貯蔵、取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

平成28年4月1日現在

名 称	愛知県陶磁器工業協同組合							赤 津 工 組	硅 砂 組 合	浴 場 組 合	自 家 給	石 油 組 合	企 業 団 地	油 関 係	エ ル ピ ー 旭 分 ガ ス	そ の 他	
	テ ー ブル ウ ェ ア	陶 芸	品 野 製 品	赤 津 製 品	オ ー ナ メ ン ト ウ ェ ア	工 業 品	フ ァ イ ン セ ラ ミ ッ ク ス										
合 計	36	11	35	12	33	41	18	6	9	2	16	17	16	4	20	55	
331	186																

瀬 戸 市 自 衛 消 防 連 絡 協 議 会

昭和52年に地域及び事業所の自衛消防組織をもって協議会を発足し、平成18年の組織改変により、現在は事業所の自衛消防隊のみで組織されています。各組織とも可搬消防ポンプ等により消防隊を編成し、事業所における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

各自衛消防隊と「地震等大規模災害時における消防業務に関する協定」を締結し、大規模な災害が発生した場合、消火活動や人命救助活動に協力を求めることとしています。

平成28年4月1日現在

結成年月日	隊 名	人 員	結成年月日	隊 名	人 員
S45. 12. 1	㈱成田製陶所本社工場消防隊	7	S61. 3. 10	リンナイ㈱瀬戸工場消防隊	10
S47. 4. 1	㈱成田製陶所山口工場消防隊	21	H 2. 10. 1	品野セラミックタイル工業㈱消防隊	20
S49. 8. 1	東芝ライフスタイル㈱愛知事業所消防隊	20	〃	豊精密工業㈱消防隊	14
S50. 7. 1	㈱ マ ル イ チ 消 防 隊	7	H 6. 4. 1	富士特殊紙業㈱消防隊	15
S52. 4. 1	伊藤忠セラテック㈱消防隊	22	H13. 4. 1	河村電器産業㈱本地工場消防隊	17
S56. 2. 1	河村電器産業㈱暁工場消防隊	18	H20. 4. 1	豊田合成㈱瀬戸工場消防隊	44
S56. 4. 1	ホームユー㈱瀬戸工場消防隊	113	H21. 8. 6	テクノエイト㈱消防隊	30
S57. 4. 1	鈴一物産㈱消防隊	5	合 計	16隊	375
S59. 3. 30	㈱東濃 LIXIL 製作所消防隊	12			

瀬戸市婦人消防隊連絡協議会

各地域婦人（女性）防火クラブ相互の連絡協調を図り、家庭における火災予防思想の普及を目的として、平成元年4月1日に協議会が発足されました。

平成28年4月1日現在

結成年月日	クラブ名称	人員	結成年月日	クラブ名称	人員
S58. 4. 1	定光寺町婦人防火クラブ	50	H 2. 8. 20	道泉女性防火クラブ	56
S59. 11. 25	陶原婦人防火クラブ	11	H 9. 4. 1	下品野女性防火クラブ	47
S60. 12. 15	深川婦人防火クラブ	18	H13. 3. 30	祖母懐婦人防火クラブ	34
S62. 7. 14	幡山女性防火クラブ	54	H21. 8. 27	西陵女性防火クラブ	29
H 1. 8. 10	水野婦人防火クラブ	23	H27. 9. 28	效範女性防火クラブ ※	31
			合 計	10クラブ	353

※ こうはん婦人会防火クラブは、平成27年9月28日から新たに效範女性防火クラブとして発足

瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及に協力活動しています。また、平成12年4月1日に少年消防クラブから瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に名称を変更し設立しました。

平成28年4月1日現在

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
S36. 6. 19	水南小学校少年消防クラブ	551	H 4. 9. 14	祖母懐小学校少年消防クラブ	128
S43. 1. 20	長根小学校少年消防クラブ	481	H18. 7. 6	幡山西小学校少年消防クラブ	572
S56. 9. 18	品野台少年消防クラブ	80	H23. 4. 1	道泉小学校少年消防クラブ	208
S57. 7. 18	八幡小学校少年消防クラブ	255	〃	東明小学校少年消防クラブ	100
S59. 9. 1	古瀬戸小学校少年消防クラブ	92	H23. 7. 8	深川小学校少年消防クラブ	56
S60. 4. 1	西陵小学校少年消防クラブ	728	H23. 7. 8	特別支援学校少年消防クラブ	42
〃	下品野小学校少年消防クラブ	455	H23. 7. 20	陶原小学校少年消防クラブ	626
S60. 6. 1	東山小学校少年消防クラブ	828	H23. 7. 25	效範小学校少年消防クラブ	556
〃	水野小学校少年消防クラブ	408	H24. 6. 21	掛川小学校少年消防クラブ	32
S60. 6. 3	萩山小学校少年消防クラブ	128	H24. 6. 25	原山小学校少年消防クラブ	253
S60. 6. 17	幡山東小学校少年消防クラブ	466	合 計	21クラブ	7,045

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
H23. 4. 1	本山中学校少年消防クラブ	104	H24. 5	水無瀬中学校少年消防クラブ	633
〃	幡山中学校少年消防クラブ	581	H24. 5	光陵中学校少年消防クラブ	281
〃	水野中学校少年消防クラブ	487	H24. 6	品野中学校少年消防クラブ	247
H23. 7. 5	祖東中学校少年消防クラブ	174	H26. 4. 1	特別支援学校少年消防クラブ	10
H23. 7. 20	南山中学校少年消防クラブ	985	合 計	9クラブ	3,502

瀬戸市幼年消防クラブ

このクラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解させることで、火遊び等による火災の減少を図り、将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、園児を介して家族等にも防火等に関する広報活動を行うことを目的に平成23年5月23日に結成されました。

平成28年4月1日現在

加入年月日	園名	人員	加入年月日	園名	人員
H23. 5. 23	幡山南保育園	53	H23. 5. 23	瀬戸北保育園	93
H23. 5. 23	八幡保育園	45	H23. 5. 23	萩山保育園	80
H23. 5. 23	水北保育園	141	H23. 5. 23	みずの保育園	100
H23. 5. 23	古瀬戸保育園	66	H23. 5. 23	ふたば保育園	92
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸幡山西 (旧幡山西保育園)	98	H23. 5. 23	キッズプラザアスク 新瀬戸	119
H23. 5. 23	品野西保育園	123	H23. 5. 23	ひなご幼稚園	172
H23. 5. 23	こうはん保育園	98	H23. 5. 23	雪の聖母幼稚園	70
H23. 5. 23	原山保育園	83	H23. 5. 23	マリア幼稚園	215
H23. 5. 23	水南保育園	116	H23. 5. 23	真貴幼稚園	370
H23. 5. 23	西保育園	119	H23. 5. 23	菱野幼稚園	412
H23. 5. 23	南保育園	116	H23. 5. 23	はちまん幼稚園	274
H23. 5. 23	幡山東保育園	122	H23. 5. 23	瀬戸幼稚園	471
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸南山 (旧こうはん南保育園)	127	合計	26園	3,875
H23. 5. 23	東保育園	100			

防 災 会

防災会は、アーケード内の商店街を中心として、隣接する密集家屋等の特殊地域を火災から守るため、会員相互による防災対策の検討や各種の防火思想の普及活動をしています。

また、近年は年末年始等に火災警戒のための警戒巡回や広報活動も活発に実施しています。

平成28年4月1日現在

結成年月日	名称	人員
S55. 12. 1	未広町防災会	7
S56. 12. 1	朝日町防災会	10

安心・安全トピックス

わんわん消防隊

近年のペットブームを受け、飼い主とペットが定期的に行う散歩又は飼い主同士のコミュニケーションの場を利用し、防火・防災等のPRをすることを目的として発足しました（平成24年11月）。

朝夕に見かける飼い主とペットの散歩は非常に多く、愛犬に消防隊メダルを着けてもらうとともに、飼い主には消防隊員証を発行し、消防隊員という名の下、防火意識の普及啓発に効果をあげています。

平成28年4月1日現在

年度	H25	H26	H27	H28
登録状況（頭）	167	237	236	247



火の用心



救急安心たまご

救急安心たまごは、緊急連絡先や既往歴などの必要事項を記入した安心カードをカプセルに入れて、自宅冷蔵庫の卵ケースに保管しておきます。

冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に、救急隊が傷病者の情報を正確に入手する手段として活用します。

救急安心たまご配布状況（平成22年から）

平成28年4月1日現在（各年中）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
2,991	1,311	1,046	970	523	410	7,251

第4編

火災統計

平成27年中の火災発生状況と前年との比較

区 分	平成27年 (A)	平成26年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)×100
出 火 件 数 (件)	31	43	▲ 12	▲ 27.9
建物火災	15	16	▲ 1	▲ 6.3
林野火災	2	6	▲ 4	▲ 66.7
車両火災	2	7	▲ 5	▲ 71.4
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	12	14	▲ 2	▲ 14.3
焼 損 棟 数 (棟)	19	23	▲ 4	▲ 17.4
全 焼	4	3	1	33.3
半 焼	2	2	0	0.0
部 分 焼	4	7	▲ 3	▲ 42.9
ぼ や	9	11	▲ 2	▲ 18.2
建物焼損床面積 (㎡)	334	773	▲ 439	▲ 56.8
建物焼損表面積 (㎡)	2	15	▲ 13	▲ 86.7
林野焼損面積 (a)	47	15	32	213.3
死 者 (人)	1	1	0	0.0
負 傷 者 (人)	6	6	0	0.0
り 災 世 帯 数 (世帯)	10	22	▲ 12	▲ 54.5
全 損	1	6	▲ 5	▲ 83.3
半 損	1	1	0	0.0
小 損	8	15	▲ 7	▲ 46.7
り 災 人 員 (人)	30	66	▲ 36	▲ 54.5
損 害 額 (千円)	26,840	97,342	▲ 70,502	▲ 72.4
建物火災	19,863	83,258	▲ 63,395	▲ 76.1
林野火災	0	0	0	0.0
車両火災	6,975	11,053	▲ 4,078	▲ 36.9
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	2	3,031	▲ 3,029	▲ 99.9
出 火 率 (件/万人)	2.4	3.3	▲ 0.9	—

※ ▲は減少を示す。

原因別・用途別火災状況

平成27年中

用途 出火原因	出火件数合計	建 物 火 災							林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
		小 計	住 宅		産 業 用							建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者	
			専 用 住 宅	併 用 住 宅	事 務 所	工 場 ・ 作 業 所	店 舗	そ の 他								
放火・放火の疑い	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	
こ ん ろ	4	4	3	0	0	0	1	0	0	0	12	0	0	4	384	
た ば こ	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	47	0	0	0	
た き 火	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
火 あ そ び	3	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	
焼 却 炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
配 線 器 具	3	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	56	0	0	855	
ス ト ー ブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火 入 れ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
排 気 管	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 気 機 器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18	
そ の 他	7	4	1	0	0	3	0	0	0	1	2	144	0	0	2	11,984
不 明	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	122	0	1	0	13,594
合 計	31	15	8	0	0	3	2	2	2	2	12	334	47	1	6	26,840

初期消火実施状況調

平成27年中

区 分 火災種別	火災件数 (A)	初 期 消 火 の 種 類					初 期 消 火 実施件数(B)	実施率(%) (B)/(A)	平成26年 実施率(%)
		消火器	水バケツ	水道水	汲み置き水	その他			
建物火災	15	3	0	3	0	3	9	60.0	81.3
林野火災	2	0	0	0	0	1	1	50.0	50.0
車両火災	2	2	0	0	0	0	2	100.0	42.9
その他火災	12	0	1	0	2	2	5	41.7	64.3
合 計	31	5	1	3	2	6	17	54.8	65.1

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数

平成27年中

原因	計	発火源	計	経過	計	着火物	計
たばこ	4	たばこ	4	不適当なところへ捨て置く	3	枯草	2
						落葉	1
				消したはずの物が再燃する	1	その他	1
こんろ	4	ガスこんろ	2	過熱する	2	動植物油類	2
		大型こんろ	2	引火する	1	LPG（スプレー用）	1
				放置する・忘れる	1	動植物油類	1
火遊び	3	マッチ	2	火遊び	3	枯草	1
		ライター	1			紙製品	1
						落葉	1
放火・放火の疑い	3	不明	3	放火の疑い	1	その他（枯木）	1
				放火	2	繊維製品	1
						合成樹脂と成形品	1
配線器具	3	その他の配線器具	2	金属の接触部が過熱する	1	合成樹脂と成形品	1
		接続器（その他）	1	電線が短絡する	2	配線器具類	1
						板張ベニヤ	1
火入れ	2	枯草焼き	2	火源が動いて接触する	1	枯草	2
				その他	1		
たき火	1	たき火	1	火源が動いて接触する	1	枯草	1
電灯・電話等の配線	1	配線接触部	1	短絡する	1	その他（非常警報設備）	1
排気管	1	排気管	1	衝突により発火	1	その他	1
溶接機・切断機	1	アセチレンガス溶接機・切断機	1	火の粉が散る	1	その他	1
灯火	1	灯明	1	可燃物が火源の上に転倒落下す	1	合成樹脂と成形品	1
その他	5	グラインダーの火花	1	火花が飛ぶ	1	アセチレン	1
		野積みのごみ	1	残り火の処理が不十分	1	ごみ類	1
		火のついた紙	1	その他	1	衣類	1
		焼入金属	1	高温物が触れる	1	可燃性液体類	1
		ブレーキライニング	1	摩擦により発熱する	1	その他	1
不明	2	不明	2	不明	2	その他	1
						不明	1

署 所 別・連 区 別 火 災 状 況

平成27年中

区分 署所別・連区別	出火件数					焼 損 棟 数	焼損面積		死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建物 (㎡)	林野 (a)	死 者	負 傷 者			
消防署	9	8	0	0	1	12	334	0	1	3	7	16	19,657
東分署	10	3	2	1	4	3	0	47	0	1	1	5	7,004
南分署	12	4	0	1	7	4	0	0	0	2	2	9	179
合 計	31	15	2	2	12	19	334	47	1	6	10	30	26,840
道 泉	3	3	0	0	0	3	44	0	0	3	3	7	4,628
深 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東 明	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6,933
祖母懐	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
陶 原	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長 根	1	1	0	0	0	1	12	0	0	1	1	1	378
效 範	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 南	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0
水 野	6	4	0	0	2	8	278	0	1	0	3	10	14,704
西 陵	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
原山台	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	46
萩山台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
品 野	3	1	1	0	1	1	0	47	0	0	0	0	18
下品野	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山 口	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	131
本 地	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
菱 野	4	1	0	0	3	1	0	0	0	2	1	6	1
新 郷	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	1

曜 日 別 ・ 月 別 火 災 状 況

平成27年中

区分 曜日・月	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
月曜日	5	3	0	0	2	3	56	0	0	0	0	0	882
火曜日	5	3	0	0	2	3	0	0	0	1	1	1	8
水曜日	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6,933
木曜日	2	2	0	0	0	6	222	0	1	0	3	10	13,840
金曜日	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0
土曜日	6	4	1	0	1	4	12	47	0	3	3	9	512
日曜日	8	2	0	1	5	2	44	0	0	2	2	7	4,665
合 計	31	15	2	2	12	19	334	47	1	6	10	30	26,840
1 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 月	4	1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	3	0
3 月	6	4	0	0	2	4	0	0	0	1	2	4	139
4 月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	6	1	2	0	3	1	56	47	0	1	0	0	814
6 月	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	51
7 月	2	2	0	0	0	3	100	0	0	1	1	6	246
8 月	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	6,975
9 月	5	3	0	0	2	6	122	0	1	0	3	10	13,612
10 月	1	1	0	0	0	1	44	0	0	1	1	1	4,623
11 月	2	2	0	0	0	2	12	0	0	2	2	6	380
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

天 候 別 火 災 状 況

平成27年中

区分 天 候	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
晴	21	10	0	0	11	10	100	0	0	5	6	19	5,465
曇	8	3	2	2	1	4	100	0	0	0	0	0	7,403
雨	2	2	0	0	0	5	134	47	1	1	4	11	13,972
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	15	2	2	12	19	334	47	1	6	10	30	26,840

時 間 別 火 災 状 況

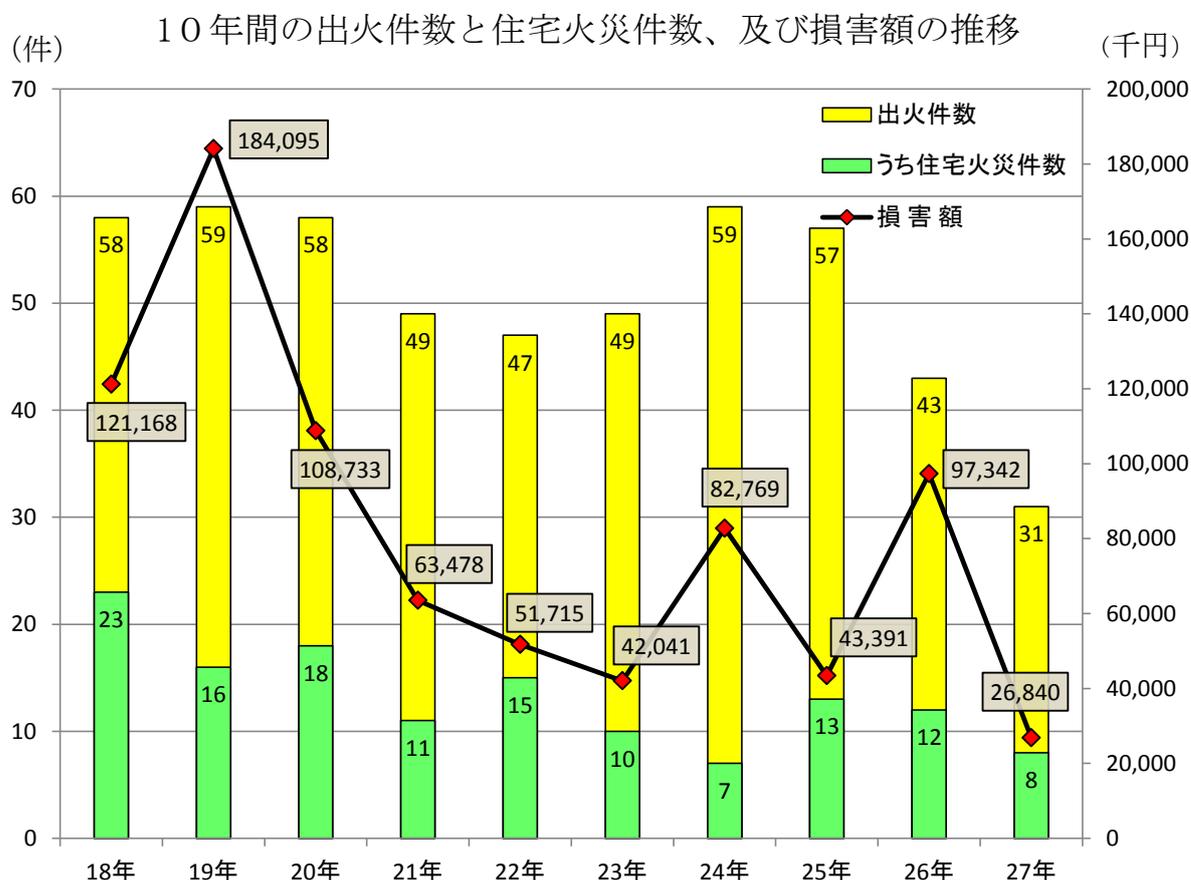
平成27年中

区分 時間	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
0時～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1時～2時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2時～3時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3時～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4時～5時	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6,933
5時～6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6時～7時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7時～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時～9時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9時～10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10時～11時	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	42
11時～12時	4	2	0	0	2	2	44	0	0	2	1	1	4,754
12時～13時	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	51
13時～14時	5	2	1	0	2	2	0	47	0	1	2	8	2
14時～15時	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
15時～16時	3	2	0	0	1	2	56	0	0	0	0	0	817
16時～17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17時～18時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
18時～19時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0
19時～20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時～21時	3	2	1	0	0	5	122	0	1	0	3	10	13,612
21時～22時	3	2	0	0	1	3	100	0	0	1	1	6	247
22時～23時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	4
23時～24時	1	1	0	0	0	1	12	0	0	1	1	1	378
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	15	2	2	12	19	334	47	1	6	10	30	26,840

10年間の火災状況

区分 年別	出火件数					焼損面積		死傷者数		損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成18年	58	34(23)	4	9	11	1,298	22	3	11	121,168
平成19年	59	25(16)	10	8	16	3,324	47	1	6	184,095
平成20年	58	26(18)	7	7	18	1,300	24	2	6	108,733
平成21年	49	18(11)	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成22年	47	21(15)	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成23年	49	21(10)	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19(7)	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21(13)	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16(12)	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15(8)	2	2	12	334	47	1	6	26,840
10年間平均	51	22(13)	7	6	17	1,011	52	2	7	82,157

() の数字は住宅火災の件数

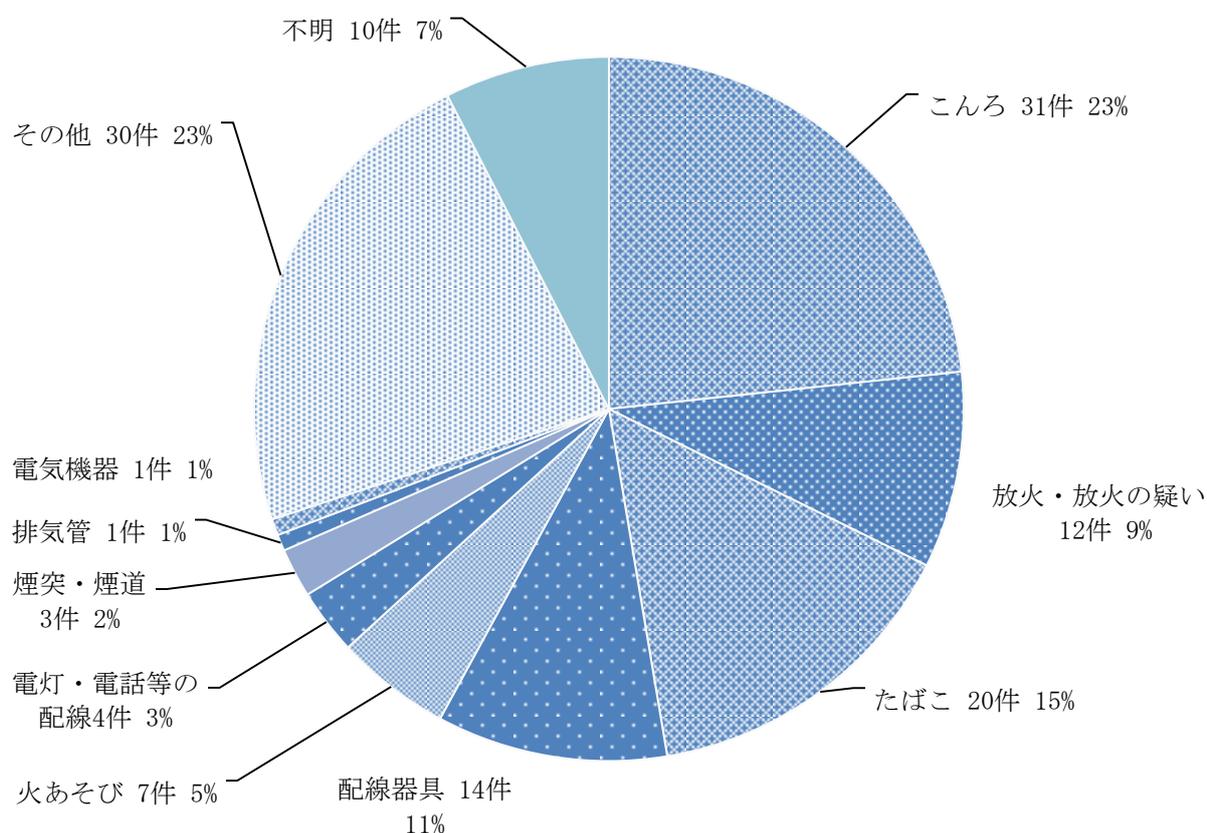


10年間の住宅火災の状況

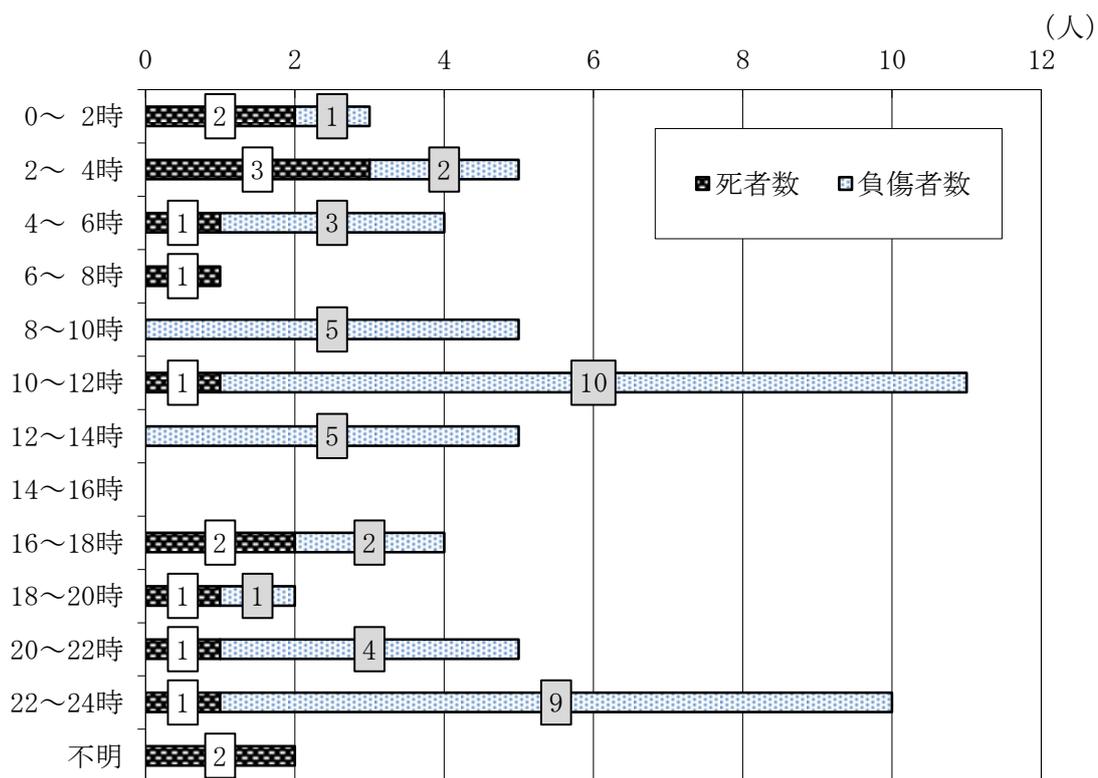
年別	区分 出火 件数	焼損棟数					死傷者数		損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	死者	負傷者	
平成18年	23	6	3	11	15	0	2	5	77,749
平成19年	16	3	2	9	5	0	1	2	71,096
平成20年	18	2	1	6	13	0	1	3	98,034
平成21年	11	2	0	3	7	0	2	7	47,442
平成22年	15	4	2	5	12	0	2	3	38,881
平成23年	10	3	1	3	6	0	3	3	21,387
平成24年	7	2	1	5	4	0	2	3	15,541
平成25年	13	2	0	3	8	0	1	7	43,391
平成26年	12	3	1	7	8	0	0	5	47,663
平成27年	8	1	1	0	6	0	1	4	18,226
10年間合計	133	28	12	52	84	0	15	42	479,410
10年間平均	13	3	1	5	8	0	2	4	47,941

死傷者数は放火自殺者等を除く。

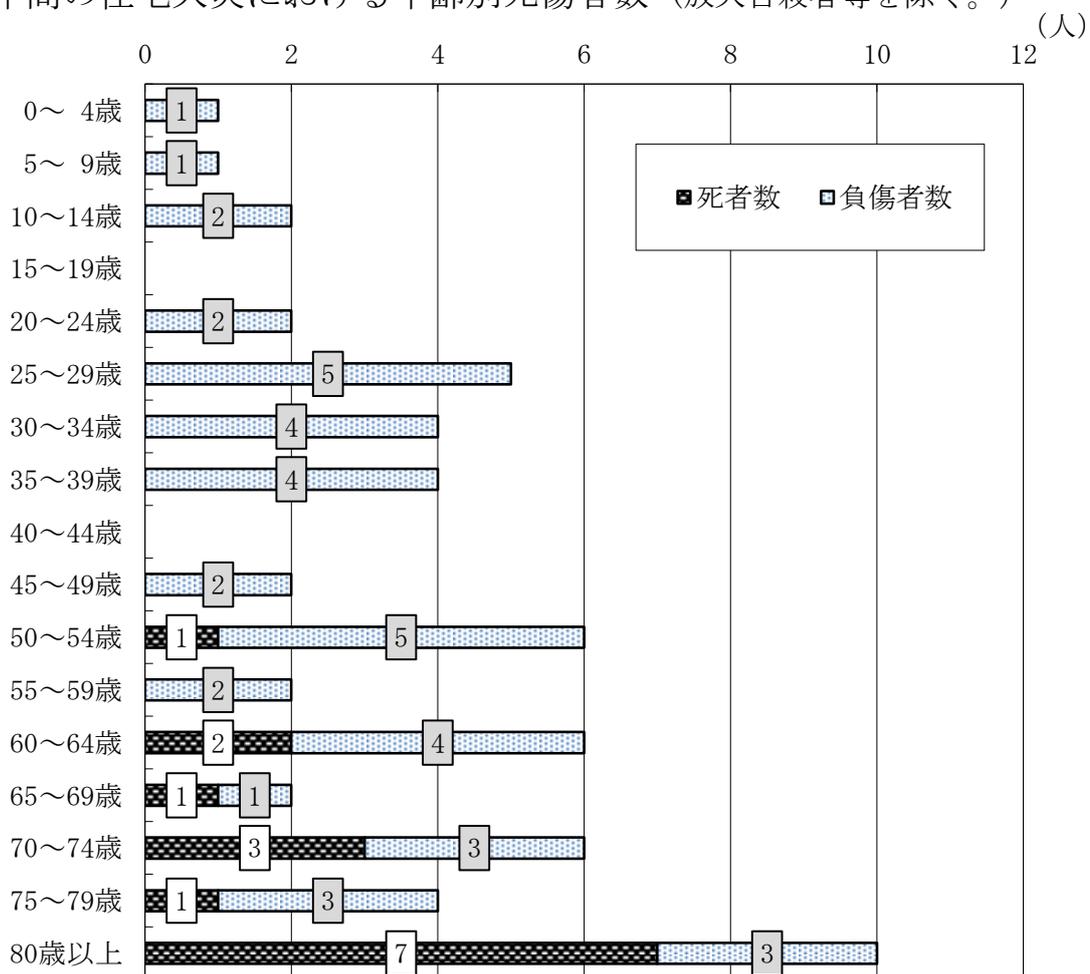
10年間の住宅火災における出火原因別件数



10年間の住宅火災における時間別死傷者数（放火自殺者を除く。）



10年間の住宅火災における年齢別死傷者数（放火自殺者等を除く。）



10年間の主な火災

区分 年月日	発生場所	火元用途	出火原因	焼損面積	死傷者数		損害額 (千円)
					死者	負傷者	
H18. 3. 24	水北町	住宅	火遊び	48 m ²	1	0	8,063
H18. 4. 9	熊野町	倉庫	放火	230 m ²	0	1	22,842
H18. 11. 13	八幡台2丁目	共同住宅	たばこ	94 m ²	1	1	6,202
H19. 1. 1	仲切町	作業所	不明	1,212 m ²	0	0	50,714
H19. 3. 13	東茨町	併用住宅	ドライヤー	106 m ²	0	0	28,018
H19. 3. 15	陶原町4丁目	併用住宅	たばこ	221 m ²	1	0	7,590
H19. 3. 18	湯之根町	作業所	不明	633 m ²	0	0	13,155
H19. 7. 9	八幡台2丁目	共同住宅	放火	81 m ²	0	2	8,711
H19. 11. 18	原山町	学校	放火	656 m ²	0	0	40,275
H20. 12. 26	西古瀬戸町	併用住宅	バーナー	766 m ²	0	0	60,755
H21. 6. 12	道泉町	住宅	灯火	100 m ²	0	1	38,801
H22. 4. 18	原山町	住宅	不明	202 m ²	0	0	26,960
H22. 8. 26	元町1丁目	併用住宅	不明	88 m ²	1	0	1,321
H22. 11. 3	松原町2丁目	住宅	不明	47 m ²	1	0	1,562
H22. 1. 10	松原町3丁目	住宅	灯火	82 m ²	1	0	8,979
H22. 11. 5	上之山町1丁目	共同住宅	不明	23 m ²	2	0	1,022
H23. 4. 3	仲郷町	住宅	ストーブ	233 m ²	0	2	4,836
H23. 9. 26	宮地町	住宅	放火の疑い	55 m ²	0	0	6,242
H23. 12. 22	高根町1丁目	店舗	その他	69 m ²	0	0	8,352
H24. 6. 9	泉町	工場	電気配線	384 m ²	0	0	15,272
H24. 8. 3	本郷町	工場	電気機器	9 m ²	0	0	27,179
H24. 8. 14	今池町	共同住宅	蚊取り線香	431 m ²	1	1	14,290
H24. 12. 13	共栄通1丁目	住宅	不明	87 m ²	1	0	1,225
H25. 1. 28	内田町1丁目	住宅	ストーブ	14 m ²	0	0	2,140
H25. 5. 1	東十三塚町	住宅	その他	183 m ²	1	2	4,100
H25. 6. 30	原山台2丁目	住宅	灯火	132 m ²	0	0	11,440
H25. 11. 9	東菱野町	住宅	不明	134 m ²	0	4	20,761
H26. 2. 9	水北町	住宅	たばこ	236 m ²	0	0	12,439
H26. 4. 25	山路町	工場	衝撃火花	0 m ²	1	0	33,137
H26. 5. 5	東印所町	住宅	配席器具	178 m ²	0	2	3,430
H26. 5. 15	苗場町	共同住宅	こんろ	90 m ²	0	0	13,528
H26. 6. 4	坊金町	住宅	線香	118 m ²	0	1	8,965
H27. 5. 11	内田町1丁目	倉庫	配線器具	56 m ²	0	0	813
H27. 7. 2	十軒町	作業場	溶接機・切断機	100 m ²	0	0	246
H27. 9. 3	中水野町1丁目	住宅	不明	122 m ²	1	0	12,717

第5編

救急・救助統計

事故種別救急出動件数及び搬送人員

事故種別	平成27年中		平成26年中		対前年比		
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
急病	3,601 (3,439)	67.2 (67.8)	3,625 (3,391)	66.9 (67.9)	▲ 24 (48)	▲ 0.7 (1.4)	
一般負傷	758 (738)	14.1 (14.5)	785 (760)	14.5 (15.2)	▲ 27 (▲ 22)	▲ 3.4 (▲ 2.9)	
交通事故	479 (484)	8.9 (9.5)	472 (477)	8.7 (9.5)	7 (7)	1.5 (1.5)	
自損行為	36 (16)	0.7 (0.3)	36 (18)	0.7 (0.4)	0 (▲ 2)	0.0 (▲ 11.1)	
運動競技	39 (33)	0.7 (0.7)	35 (34)	0.6 (0.7)	4 (▲ 1)	11.4 (▲ 2.9)	
労働災害	48 (48)	0.9 (0.9)	35 (32)	0.6 (0.6)	13 (16)	37.1 (50.0)	
加害	22 (20)	0.4 (0.4)	16 (15)	0.3 (0.3)	6 (5)	37.5 (33.3)	
火災	6 (6)	0.1 (0.1)	5 (6)	0.1 (0.1)	1 (0)	20.0 (0.0)	
水難	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)	
自然災害	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)	
その他	転院搬送	288 (286)	5.4 (5.6)	263 (262)	4.9 (5.2)	25 (24)	9.5 (9.2)
	医師搬送	18 (0)	0.3 (0.0)	81 (0)	1.5 (0.0)	▲ 63 (0)	▲ 77.8 (-)
	資材搬送	1 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	1 (0)	- (-)
	その他	64 (3)	1.2 (0.1)	66 (1)	1.2 (0.0)	▲ 2 (2)	▲ 3.0 (200.0)
合計	5,360 (5,073)	100.0 (100.0)	5,419 (4,996)	100.0 (100.0)	▲ 59 (77)	▲ 1.1 (1.5)	

※ ▲は減少を示す。

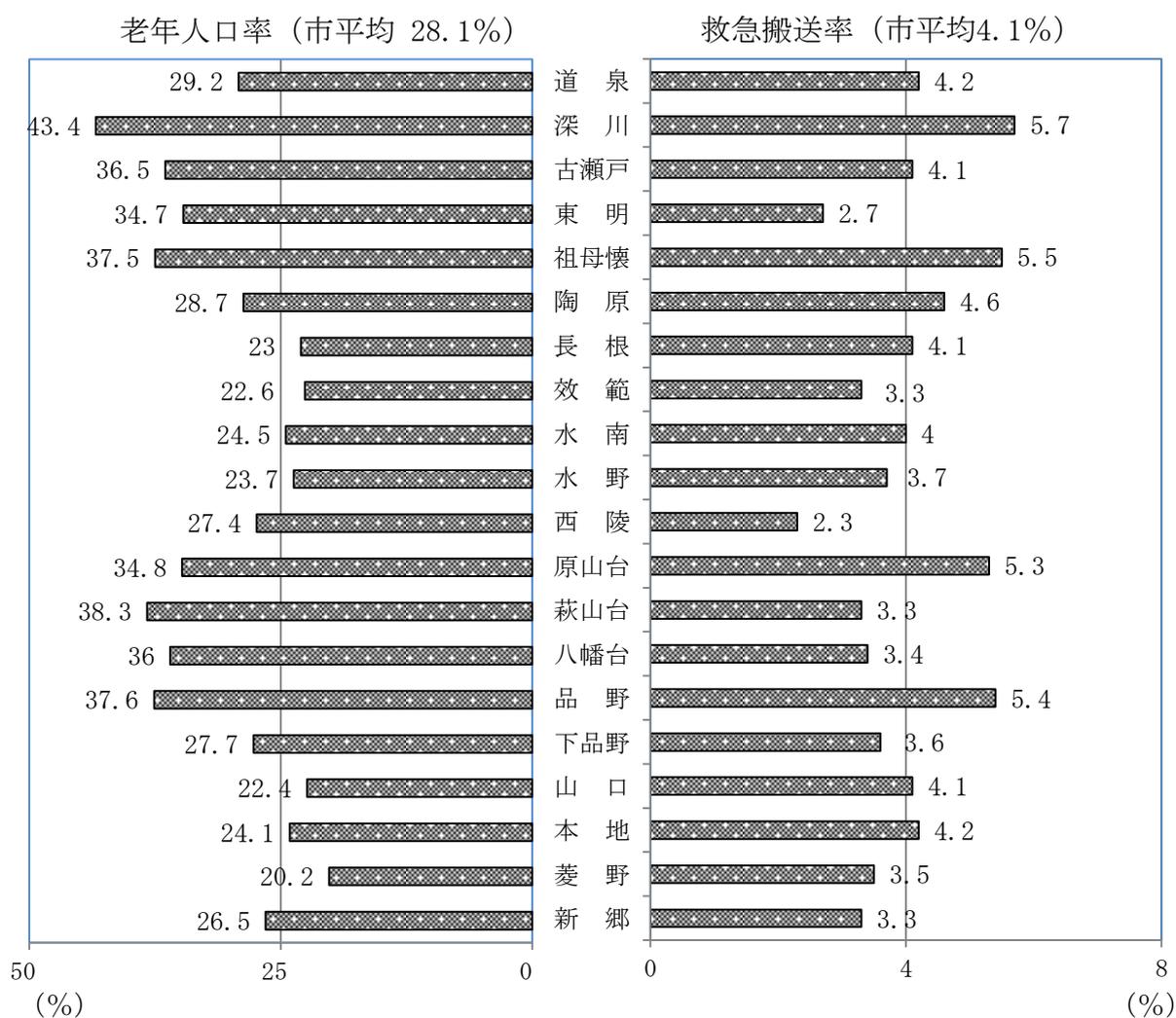
署所別救急出動件数

平成27年中

区 分	合 計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他			
												転院 搬送	医師 搬送	資材 搬送	その他
消 防 署	1,674	1	0	0	138	4	7	234	9	8	1,136	111	0	1	25
東 分 署	1,049	2	0	0	84	17	11	156	1	8	734	28	0	0	8
南 分 署	1,372	0	0	0	119	12	6	203	7	13	943	58	0	0	11
ワークステーション	1,262	3	0	0	138	15	15	165	5	7	785	91	18	0	20
そ の 他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
合 計	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	288	18	1	64

連区別の老年人口率と救急搬送率

平成27年中



※ 老年人口率：各連区の総人口のうち65歳以上人口が占める割合
 救急搬送率：各連区の総人口のうち救急搬送された人員の割合

曜日別・月別救急出動件数

平成27年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月	873	0	0	0	65	10	2	112	3	1	614	66
火	737	1	0	0	49	7	4	86	5	3	524	58
水	750	0	0	0	85	6	1	112	1	8	507	30
木	762	0	0	0	76	6	5	113	2	4	485	71
金	774	0	0	0	70	9	4	103	2	4	507	75
土	755	4	0	0	78	6	5	102	5	8	495	52
日	709	1	0	0	56	4	18	130	4	8	469	19
合計	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371
1月	558	0	0	0	40	3	2	85	2	2	386	38
2月	408	0	0	0	29	5	0	44	3	3	295	29
3月	416	1	0	0	31	2	5	66	3	5	279	24
4月	407	0	0	0	33	1	2	65	1	4	275	26
5月	424	1	0	0	39	3	5	70	0	2	273	31
6月	417	0	0	0	40	2	2	62	3	2	279	27
7月	495	0	0	0	35	8	7	65	1	4	331	44
8月	456	0	0	0	49	3	5	57	3	1	310	28
9月	436	0	0	0	47	2	2	58	0	1	288	38
10月	454	1	0	0	58	7	5	64	2	3	282	32
11月	454	3	0	0	42	7	3	63	2	4	298	32
12月	435	0	0	0	36	5	1	59	2	5	305	22

時間別救急出動件数

平成27年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371
0～2時	205	0	0	0	7	0	0	22	5	2	158	11
2～4時	197	0	0	0	4	1	0	22	0	0	167	3
4～6時	192	0	0	0	4	0	0	26	1	0	152	9
6～8時	401	0	0	0	52	1	0	52	1	5	288	2
8～10時	692	0	0	0	61	5	0	101	0	4	467	54
10～12時	730	1	0	0	66	15	13	96	3	5	431	100
12～14時	592	3	0	0	56	10	11	83	3	3	364	59
14～16時	521	0	0	0	49	7	5	80	0	4	338	38
16～18時	517	0	0	0	73	7	6	85	1	4	312	29
18～20時	567	0	0	0	66	1	2	88	1	5	371	33
20～22時	423	0	0	0	27	1	1	68	4	1	300	21
22～24時	323	2	0	0	14	0	1	35	3	3	253	12

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

平成27年中

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
急 病 (構成比：%)	64 (1.9)	149 (4.3)	1,193 (34.7)	2,033 (59.1)	0 (0.0)	3,439 (100.0)
交 通 事 故 (構成比：%)	0 (0.0)	7 (1.4)	97 (20.0)	380 (78.5)	0 (0.0)	484 (100.0)
一 般 負 傷 (構成比：%)	2 (0.3)	18 (2.4)	181 (24.5)	537 (72.8)	0 (0.0)	738 (100.0)
そ の 他 (構成比：%)	0 (0.0)	42 (10.2)	258 (62.6)	112 (27.2)	0 (0.0)	412 (100.0)
合 計 (構成比：%)	66 (1.3)	216 (4.3)	1,729 (34.1)	3,062 (60.4)	0 (0.0)	5,073 (100.0)

[備考] 傷病程度区分は次によっている。

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症 傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 4 軽 症 傷病程度が入院を必要としないもの。
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

平成27年中

事故種別 年齢区分		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	救急搬送率 (%)
新 生 児 (構成比：%)	1 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.3)	8 (1.9)	11 (0.2)	2.9	
乳 幼 児 (構成比：%)	117 (3.4)	15 (3.1)	54 (7.3)	8 (1.9)	194 (3.8)		
少 年 (構成比：%)	88 (2.6)	47 (9.7)	39 (5.3)	25 (6.1)	199 (3.9)	1.5	
成 人 (構成比：%)	896 (26.1)	307 (63.4)	164 (22.2)	153 (37.1)	1,520 (30.0)	2.1	
高 齢 者	65～74歳 (構成比：%)	724 (21.1)	54 (11.2)	125 (16.9)	77 (18.7)	980 (19.3)	4.9
	75歳以上 (構成比：%)	1,613 (46.9)	61 (12.6)	354 (48.0)	141 (34.2)	2,169 (42.8)	13.1
	小 計	2,337 (68.0)	115 (23.8)	479 (64.9)	218 (52.9)	3,149 (62.1)	8.6
合 計 (構成比：%)	3,439 (100.0)	484 (100.0)	738 (100.0)	412 (100.0)	5,073 (100.0)		

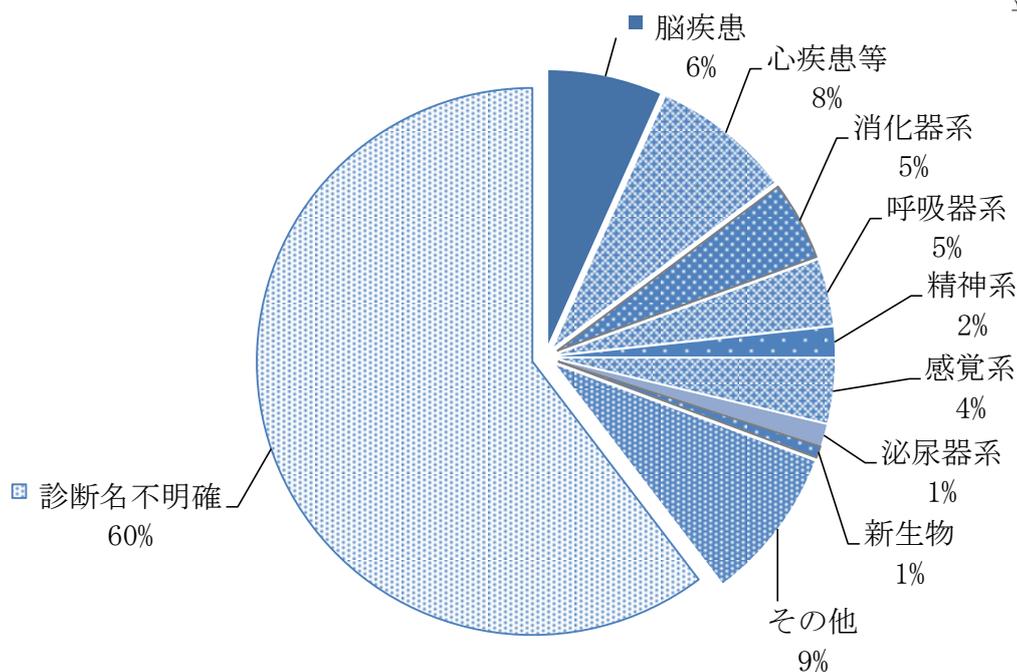
[備考] 年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

[備考] 救急搬送率は年齢区分別の総人口のうち救急搬送された人員の割合

急病にかかる疾病分類別搬送人員調

平成27年中



疾病分類別	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	合計
急病搬送人員	228	278	161	133	59	129	42	24	309	2,076	3,439

事故種別医療機関別搬送人員調

平成27年中

告示の別等	事故種別等 区分	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	
救急医療機関	国立	15	15	9	9	8	8	11	11	43	43	
	公立	3,078	16	404	9	661	1	291	8	4,434	34	
	公的	11	11	3	3	1	1	16	16	31	31	
	私的	病院	304	268	65	63	63	51	86	85	518	467
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,408	310	481	84	733	61	404	120	5,026	575		
その他の医療機関	国立	4	4	0	0	1	1	1	1	6	6	
	公立	4	4	0	0	0	0	2	2	6	6	
	公的	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2	
	私的	病院	16	4	1	0	2	0	2	1	21	5
		診療所	6	1	1	0	2	0	3	2	12	3
計	31	14	3	1	5	1	8	6	47	22		
合計	国立	19	19	9	9	9	9	12	12	49	49	
	公立	3,082	20	404	9	661	1	293	10	4,440	40	
	公的	12	12	4	4	1	1	16	16	33	33	
	私的	病院	320	272	66	63	65	51	88	86	539	472
		診療所	6	1	1	0	2	0	3	2	12	3
計	3,439	324	484	85	738	62	412	126	5,073	597		
その他の場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		3,439	324	484	85	738	62	412	126	5,073	597	

救急隊員の行った応急処置状況

平成27年中

区 分	合 計	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他 *
合 計	17,439	11,955	2,038	2,160	1,286
止 血	67	15	9	35	8
固 定	474	16	340	87	31
人 工 呼 吸	103	92	1	5	5
心 マ ッ サ ー ジ	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	137	124	1	5	7
酸 素 吸 入	1,073	697	214	62	100
気 道 確 保	279	248	4	11	16
経鼻エアウェイ	10	8	0	0	2
異 物 除 去	12	9	0	2	1
ラリゲアルマスク等	23	22	0	0	1
気 管 挿 管	3	2	0	1	0
保 温	328	182	87	34	25
被 服	228	20	54	124	30
在 宅 療 法 継 続	144	127	1	10	6
除 細 動	11	10	0	1	0
静 脈 路 確 保	37	35	1	1	0
う ち CPA 前	3	3	0	0	0
う ち CPA 後	34	32	1	1	0
薬 剤 投 与	24	22	1	1	0
そ の 他	228	156	23	31	18
血 圧 測 定	4,806	3,259	468	699	380
心 音・呼 吸 音 聴 取	1,559	1,166	191	120	82
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	4,922	3,330	478	725	389
心 電 図	3,014	2,452	166	209	187
血 糖 測 定	3	3	0	0	0
エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
ブ ド ウ 糖 投 与	1	1	0	0	0

*その他は急病・交通・一般負傷以外の種別をいう。

応急手当普及啓発実施状況

種別 年度	救命講習		上級救命講習		応急手当講習	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
平 成 5 ～ 18 年 度	720	19,007	24	466	230	8,496
平 成 19 年 度	133	3,360	4	70	20	850
平 成 20 年 度	125	3,111	2	49	19	662
平 成 21 年 度	112	3,045	2	34	20	1,353
平 成 22 年 度	96	2,455	2	34	13	867
平 成 23 年 度	104	2,760	2	35	18	963
平 成 24 年 度	143	3,879	2	44	18	809
平 成 25 年 度	113	3,216	3	41	11	305
平 成 26 年 度	149	3,660	2	36	2	410
平 成 27 年 度	144	3,996	3	71	11	340
合 計	1,839	48,489	46	880	362	15,055

救命率の推移

(%)

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
瀬戸市	0	55.6	50.0	50.0	40.0
愛知県	28.5	31.6	35.6	34.1	
全国	20.8	21.5	22.4	23.0	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②除細動が必要な心電図波形（Vf・VT）である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成27年中の愛知県及び全国の「救命率」は平成28年7月現在未発表

バイスタンダーCPR実施状況

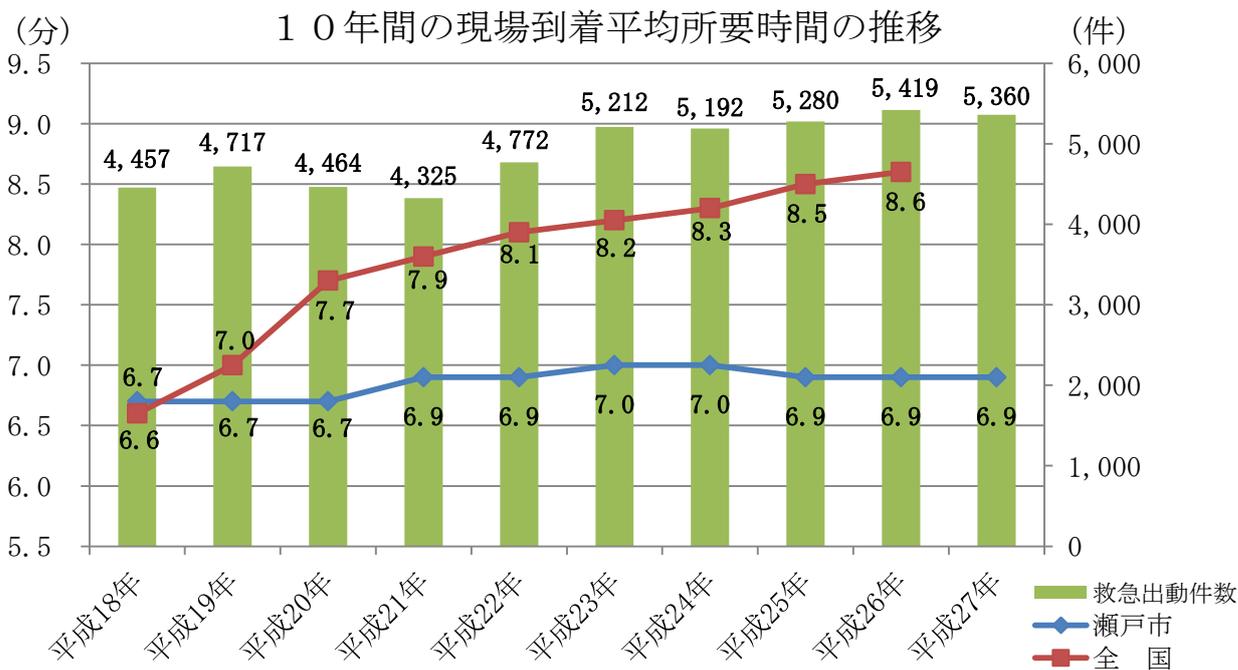
項目	平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			
	発生件数	実施件数	実施率(%)													
目撃	あり	43	28	65.1	47	25	53.2	52	37	71.2	41	26	63.4	51	36	70.6
	なし	86	59	68.6	82	58	70.7	73	57	78.1	78	59	75.6	76	61	80.3
	合計	129	87	67.4	129	83	64.3	125	94	75.2	119	85	71.4	127	97	76.4

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

AEDステーション認定事業所数

瀬戸市AEDステーション認定制度により、AED（自動体外式除細動器）を設置の上、万が一に備え応急救護体制が整備されている事業所等を「せとAEDステーション」として認定しています。（平成19年12月14日制度開始）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
61	8	5	7	19	11	5	40	19	175

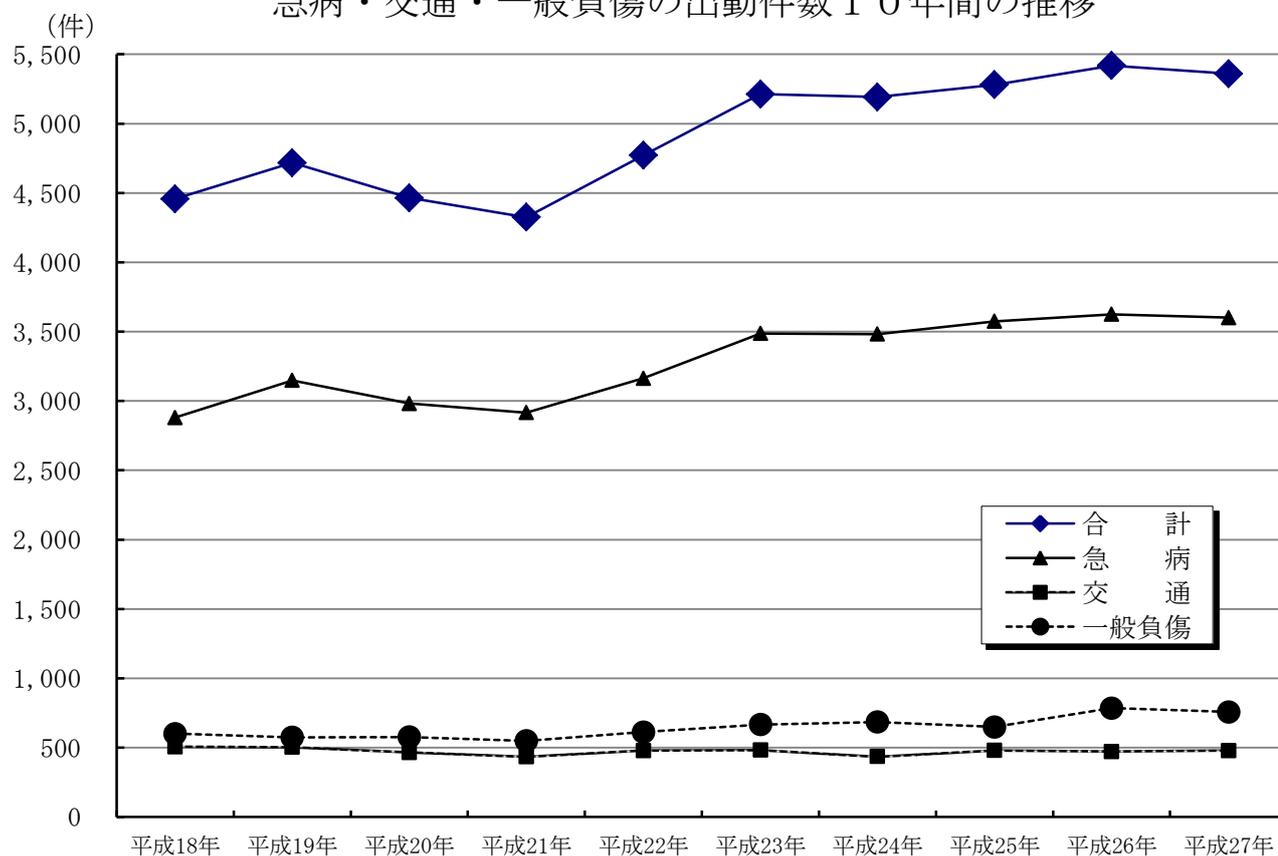


※ 平成27年中の全国の「現場到着平均所要時間」は平成28年7月現在未発表

10年間の救急出動件数

区分 年 別	合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	他 からの 消防本 部 応援
平成18年	4,457	11	0	0	507	42	41	601	27	43	2,880	305	0
平成19年	4,717	9	0	0	503	40	27	575	25	68	3,149	321	3
平成20年	4,464	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279	5
平成21年	4,325	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271	6
平成22年	4,772	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	26

急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移



事 故 別 救 助 出 動 状 況

平成27年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
出 動 件 数	72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
活 動 件 数	39	1	0	8	0	0	2	20	2	0	6
救 助 人 員	39	1	0	8	0	0	2	20	2	0	6
出 動 人 員	1,009	24	0	306	0	0	44	450	43	0	142
出 動 車 両	救 助 工 作 車	64	0	18	0	0	3	31	3	0	9
	ポ ン プ 車	79	4	22	0	0	3	36	3	0	11
	は し ご 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化 学 車	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	指 揮 車	72	1	20	0	0	3	34	3	0	11
	救 急 車	84	2	31	0	0	3	34	3	0	11
	そ の 他	8	0	5	0	0	1	0	1	0	1
	合 計	309	7	0	96	0	0	13	137	13	0

連 区 別 救 助 出 動 件 数

平成27年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
合 計	72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
道 泉	4	1					1	2			
深 川	1								1		
古 瀬 戸	2			1				1			
東 明	2			2							
祖 母 懐	1										1
陶 原	2							1	1		
長 根	9			2				6			1
效 範	12			7				4			1
水 南	7			2				3			2
水 野	4			2				1			1
西 陵	1							1			
原 山 台	4							4			
萩 山 台	2							2			
八 幡 台	1							1			
品 野	8			3			1	1			3
下 品 野	1						1				
山 口	2							1			1
本 地	4							3	1		
菱 野	0										
新 郷	4			1				3			
管 外	1										1

発 生 場 所 別 救 助 人 員

平成27年中

区 分		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ 欠 事 及 故 事	破 裂 事 故	事 故 其 他 の
			建 物	建 物 以 外								
合 計		39	1	0	8	0	0	2	20	2	0	6
屋 内	住 居	20	1	0	0	0	0	0	18	1	0	0
	そ の 他 の 屋 内	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
屋 路	高 速 道 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 道 路	8	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1
屋 外	水 面	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	山 岳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	そ の 他 の 屋 外	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
地 下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

10年間の救助出動件数

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ 欠 事 及 故 事	破 裂 事 故	事 故 其 他 の
		建 物	建 物 以 外								
平 成 18 年	53	2	0	37	0	0	1	7	0	0	6
平 成 19 年	42	0	0	25	0	0	3	5	0	0	9
平 成 20 年	51	3	0	20	0	0	0	14	1	0	13
平 成 21 年	47	0	0	28	0	0	1	9	1	0	8
平 成 22 年	48	1	0	19	2	0	2	10	1	0	13
平 成 23 年	62	1	0	22	2	0	8	16	0	0	13
平 成 24 年	71	2	0	22	1	0	4	23	0	0	19
平 成 25 年	67	1	1	30	1	0	1	21	1	0	11
平 成 26 年	71	0	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平 成 27 年	72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11

第6編

通信・気象

消防指令センターの主な施設状況

平成28年4月1日現在

施 設 名	数	施 設 名	数
指令台(Ⅱ型)	1式	自動出動指定装置	1式
地図等検索装置	1式	指令電送送信装置	1式
非常用指令設備	1式	Eメール指令装置	1式
FAX指令送信装置	1式	音声合成装置	1式
順次指令装置	1式	電源装置	1式
録音装置	1式	災害状況等案内装置	1式
出動車両運用管理装置(Ⅲ型)	1式	データ修正装置	1式
位置情報通知システム(統合型)	1式	無線統制台	1式
119番通報受信用ファクシミリ	1台	駆け込み通報装置	1式
119番プロトコール装置	2式	システム監視装置	1式
車両運用表示盤	1式	総合情報表示盤	1式
多目的大型表示装置	1式	消防用高所監視カメラ装置	1式
消防用高所カメラ画像表示盤	1式	消防庁舎監視カメラ装置	1式
消防情報支援システム	1式	気象情報収集装置	1式
ファイル共有システム	1式	衛星携帯電話	1台
県救急医療情報システム端末装置	1式	県防災行政無線設備	1式
県震度情報ネットワーク端末装置	1式	あんしん電話装置	1式
eメール119番受信用装置	1式		

月別119番受信状況(受信時の種別)

平成27年中

種別	月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		6,841	639	501	522	487	549	552	617	595	647	574	607	551
火 災		59	1	6	6	1	12	2	3	4	15	5	3	1
救 急		5,241	542	405	401	394	402	417	487	456	418	446	432	441
救 助		59	8	1	5	3	7	4	7	3	4	6	7	4
警 戒		83	3	8	9	2	5	7	5	7	10	6	11	10
災 害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問 い 合 わ せ		252	22	16	12	16	18	27	24	27	24	21	22	23
い た ず ら		30	2	0	5	1	1	2	0	1	3	6	6	3
誤 操 作 他		514	34	30	36	30	40	33	50	42	100	37	40	42
訓 練		334	14	9	32	19	29	42	21	11	62	31	51	13
試 験		269	13	26	16	21	35	18	20	44	11	16	35	14

無線施設状況

(消防署)

平成28年4月1日現在

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
消防署	デジタル	防災行政用	ぼうさいせとしょうぼう	指令センター	4 0 0 MHz z	5W	
		消防用基地局	せとあさひしれい		2 6 0 MHz z 活動波 1・2・3 主運用波	10W	
					2 6 0 MHz z 統制波 1・2・3	5W	
		消防用陸上移動局	車載型	せと 1	ポンプ車	2 6 0 MHz z 活動波 1・2・3 主運用波 統制波 1・2・3	10W
				せと 2	タンク車		
				せと 3	化学車		
				せと 1 0	ポンプ車		
				せと 3 2	梯子車		
				せと 4 3	救助車		
				せと 5 1	指揮車		
				せと 5 2	指揮車		
				せと 6 1	広報車		
				せと 6 4			
				せと 7 1	輸送車		
				せと 7 3	連絡車		
				せと 7 4	査察車		
				きゅうきゅうせと 2	救急車		
				消防用陸上移動局	可搬型		
		せと 5 4					
		せと 5 5					
		せと 8 1	消防課				
		せと 8 2	消防署				
		消防用陸上移動局	携帯型	せと 1 0 0	携帯用	5W	
				せと 1 0 1			
				せと 1 0 2			
				せと 1 1 0			
				せと 1 1 1			
せと 1 1 2							
せと 1 2 1							
せと 2 9 9	救急車						
アナログ	消防用基地局 (固定局兼用)	せとあさひしれい	指令センター	1 5 0 MHz z	10W		
		きゅうきゅうせと					
	消防用陸上移動局	車載型	せと 5 5	指揮車			
			せと 1 0 1	携帯用			
		携帯型	せと 1 0 2				
			せと 1 0 4				
	せと 1 0 5						
署活動用 無線	携帯型	せと 4 0 0 番台 1 9 機	携帯用	4 0 0 MHz z	1W		

(東分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
東分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 6	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 8	ポンプ車		
				せと 75	輸送車		
				せと 76	査察車		
				せと 77	水槽車		
				きゅうきゅうせと 3	救急車		
			可搬型	せと 83	東分署		
				携帯型	せと 210		携帯用
					せと 211		
					せと 212		
	せと 221						
	アナログ	消防用基地局		せとしょうぼうひがし きゅうきゅうせとひがし	東分署	150MHz	10W
		消防用陸上移動局	携帯型	せと201~204	携帯用		5W
		署活動用無線	携帯型	せと500番台11機	携帯用		400MHz

(南分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
南分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 5	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 9	ポンプ車		
				せと 31	空中活動車		
				せと 62	広報車		
				せと 72	積載車		
				きゅうきゅうせと 5	救急車		
			可搬型	せと 84	南分署		
				携帯型	せと 310		携帯用
					せと 311		
					せと 312		
	せと 321						
	アナログ	消防用陸上移動局	携帯型	せと301~303	携帯用	150MHz	5W
		署活動用無線	携帯型	せと600番台11機	携帯用	400MHz	1W

(救急対策室)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
救急対策室	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	きゅうきゅうせと1	救急車	260MHz 10W	
			携帯型	せと131	携帯用	活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
				せと199	救急対策室		
	アナログ	消防用陸上移動局	可搬型	せと85	救急対策室	150MHz 5W	
			携帯型	せと103	救急車		
				せと202	救急対策室		
	署活動用無線	携帯型	せと400番台3機	救急車	400MHz 1W		

(長大トンネル)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
愛岐トンネル 猿投トンネル	アナログ	消防用基地局	せとしょうぼう あいぎとんねる せとしょうぼう さなげとんねる	無線通信補助施設	150MHz	10W

(消防団)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
消防団	デジタル	消防用陸上移動局	携帯型	せとどうせん 1	携帯用	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
				せとふかがわ 1			
				せとこせと 1			
				せととうめい 1			
				せとそばかい 1			
				せととうげん 1			
				せとこうはん 1			
				せとすいなん 1			
				せとみずの 1			
				せともしなの 1			
				せとしなのだい 1			
				せとはたやま 1			
				せとやまぐち 1			

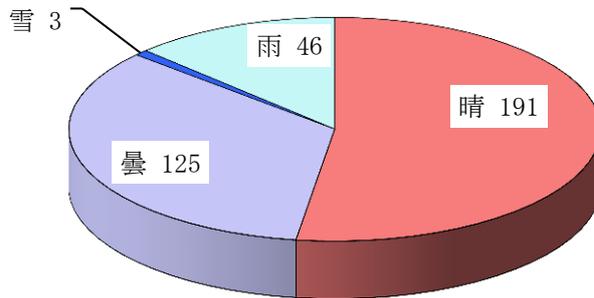
月別気象状況

平成27年中

項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
風向	平均	NNW 2.4	NNW 2.4	NNW 2.3	NNW 2.0	ENE 2.3	S 2.1	S 2.3	S 2.0	NNW 1.9	ENE 2.0	ENE 1.5	NNW 1.9		2.1
	最高	NW 10.1	NW 9.4	WNW 10.0	SSE 10.4	NW 8.4	NW 8.9	SSE 8.9	SE 10.7	SE 14.2	SE 9.1	NW 8.1	SSE 12.4		
風速 m/s	瞬間最大	NNW 18.4	NNW 17.2	NW 17.6	SSE 18.3	NW 16.7	NW 16.2	SSE 16.2	SE 20.6	SE 27.9	SE 16.9	NW 15.3	SSE 24.3		
	平均	4.2	4.9	9.1	14.8	20.8	21.9	26.1	27.7	22.6	17.7	13.7	8.7		16.0
気温 ℃	最高	13.2	15.3	22.8	28.5	33.0	36.2	36.8	38.9	31.0	27.3	23.3	22.2		
	最低	-3.1	-2.3	-2.1	5.2	10.0	12.8	18.2	20.4	14.7	6.0	3.5	-0.8		
湿度 %	平均	69.2	67.1	65.3	72.3	61.9	73.8	79.8	75.8	75.4	64.8	79.0	70.4		71.2
	最低	26.3	25.2	16.3	13.3	14.9	26.9	35.0	31.1	28.3	26.3	35.5	27.5		
降雨 mm	降水日数	9	8	12	15	8	13	15	13	14	6	10	6	129	
	総降水量	113.0	30.0	124.5	131.0	78.0	184.0	215.0	219.5	210.0	63.5	134.0	54.5	1,557	129.8
	10分間最大	2.0	0.5	2.5	2.5	3.0	12.5	5.5	12.5	7.0	8.0	3.0	2.0		
	1時間最大	11.5	2.5	10.0	7.5	11.5	26.0	17.0	23.0	11.0	13.0	7.0	6.5		
	最大日雨量	30.0	12.0	29.5	29.0	33.5	49.0	41.0	41.5	43.0	17.0	22.0	26.5		
降雪 cm	降雪日数	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
	総積雪量	0.5	0.0	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.5	
	最高積雪	0.5	0.0	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

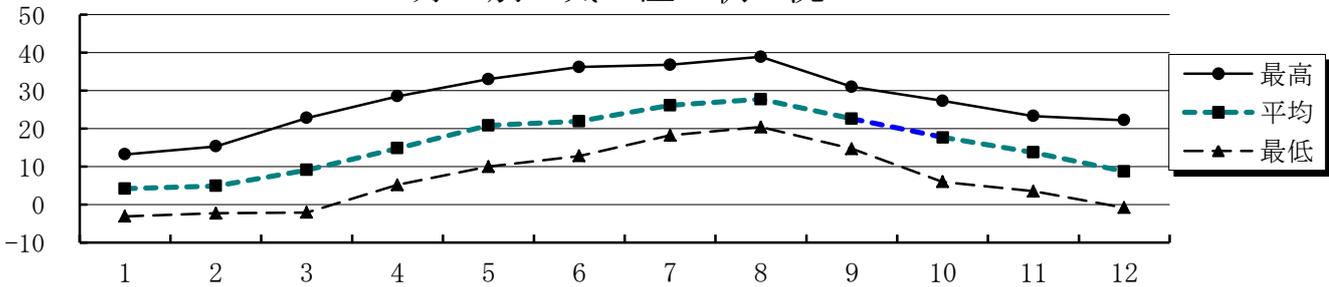
天候別日数調

平成27年中
観測9時
単位：日



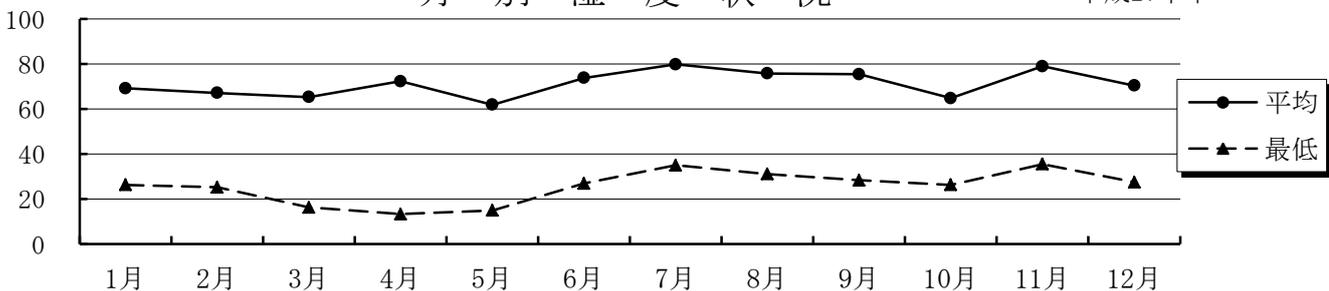
月別気温状況

平成27年中



月別湿度状況

平成27年中



第7編

資料

消 防 本 部 の 沿 革

明治 23 年 5 月	東春日井郡瀬戸村に 2 部編成定員 1 0 0 名をもって消防組を発足
明治 27 年 2 月	勅令及び県令により公設消防を組織し、瀬戸町せ組・と組で構成
明治 29 年 7 月	今村地区に私設消防組を設立
明治 39 年	幡山村に私設消防組を設立
大正 2 年	瀬戸町せ組・と組を公設消防第 1 部・第 2 部に改称（水野村に私設消防組設立、品野村に消防組を編成）
大正 7 年	瀬戸町公設消防組に第 3 部を増加編成
大正 12 年 2 月	水野村上水野消防組が公設消防組に認可
大正 14 年	赤津村公設消防組を瀬戸町公設消防組に編入し、第 4 部に増加編成
大正 15 年 12 月	水野村中水野、下水野消防組が公設消防組に認可、安土・南山・曾野私設消防組編成
昭和 4 年 10 月	市制施行に伴い瀬戸市消防組と改編、4 部 1 0 8 名で構成
昭和 14 年 4 月	瀬戸市警防団本部常備消防部として発足し、警防団 6 分団、総員 9 0 0 名、消防ポンプ車 5 台、三輪ポンプ車 1 台、腕用ポンプ 5 台を配備、戦中は防空業務に活躍
昭和 22 年 10 月	警防団本部常備消防部を解散し、同時に瀬戸市常備消防部として発足、業務開始
昭和 26 年 5 月	東春日井郡水野村との合併に伴い、水野村消防団を統合
8 月	瀬戸市消防本部設置
昭和 28 年 2 月	集中豪雨による防災活動の功績により、建設大臣表彰を受ける。
4 月	隣接品野町の大火による応援消防活動の功績により、愛知県消防協会会長表彰を受ける。
昭和 30 年 2 月	愛知郡幡山村との合併に伴い、幡山村消防団を統合
昭和 32 年 2 月	消防施設の充実により、日本消防協会会長表彰を受ける。
4 月	瀬戸市危険物安全協会設立
昭和 33 年 1 月	集中豪雨による防災、人命救助活動等の功績により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
3 月	同上により、国家消防本部長表彰を受ける。
昭和 34 年 1 月	自治体消防発足 1 0 周年記念により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
4 月	品野町との合併に伴い、品野町消防団を統合
7 月	瀬戸市消防音楽隊を発足
10 月	消防中短波無線局の設置（基地 1、移動 2、携帯 2）
12 月	伊勢湾台風（1 5 号）の復旧活動の功績により、中部日本災害対策本部長表彰を受ける。
昭和 35 年 4 月	消防団 1 団、1 3 分団 3 2 9 名で構成
9 月	瀬戸市消防署設置
昭和 36 年 4 月	常備消防力の増強を図り、1 3 分団 2 8 9 名に減員
6 月	ロータリークラブより 1 B 型救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和 37 年 3 月	消防庁告示による常設中心主義を目標とし、消防庁舎新築工事着手
4 月	瀬戸市火災予防条例の施行
10 月	消防庁舎竣工
昭和 40 年 3 月	瀬戸信用金庫から 1 B 型救急車の寄贈を受け、2 台体制による業務開始
8 月	中短波無線を超短波無線に更新（基地 1、移動 3）
9 月	市役所の愛知県行政無線を消防本部に移管
昭和 41 年 4 月	消防団の定員を 1 2 分団 2 6 7 名に減員
昭和 43 年 1 月	化学消防ポンプ自動車配備
5 月	瀬戸市指定水利規程の施行
6 月	瀬戸市火災警報規則の施行
昭和 44 年 3 月	消防力の充実により、消防庁長官から竿頭綬を受ける。
昭和 45 年 4 月	消防署救助隊の発足
9 月	防災体制の確立、防災思想の普及等の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
昭和 46 年 9 月	市内で発生した都市ガス漏洩事故の災害防ぎょ活動の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
11 月	同上により、愛知県知事表彰を受ける。
12 月	新消防庁舎新築工事着手
昭和 47 年 8 月	新消防庁舎竣工 消防本部、消防署は新庁舎に移転し、旧庁舎は東分署として消防業務開始 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を本署に配備
昭和 48 年 5 月	瀬戸尾張旭当直医問い合わせテレホンサービスの開始

昭和 49 年	2 月	救助工作車を東分署に配備
	4 月	消防本部に総務課を設置
	6 月	愛知県防災行政無線の整備計画による防災行政無線装置の更新工事完了
昭和 50 年	10 月	定光寺に火気使用制限区域の設定
	12 月	保育器の使用による未熟児搬送に関し、瀬戸旭医師会と救急業務実施協定の締結
昭和 52 年	6 月	瀬戸信用金庫から 2 B 型救急車の寄贈を受け、東分署に配備
	7 月	瀬戸市自衛消防連絡協議会設立
	11 月	3 0 m 級梯子付消防ポンプ車を消防署に配備 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を東分署に配備
昭和 53 年	3 月	自治体消防発足 3 0 周年記念大会の開催 瀬戸社会福祉事業協力会から査察車兼広報車（軽四輪）の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 54 年	12 月	消防救急指令装置 B 型及び地図検索装置の導入
昭和 55 年	10 月	消防水利整備計画に耐震性貯水槽（4 0 m ³ ）の設置を策定
昭和 56 年	9 月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車（給水装置付）の寄贈を受け、消防署に配備
	10 月	日本消防協会から 2 B 型救急車の寄贈を受け、消防署に更新配備 消防署三部制勤務の試行開始
昭和 58 年	4 月	消防署三部制勤務の開始 小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に配備
	10 月	化学消防ポンプ車を東分署に配備し、旧車両を消防署に配備
昭和 59 年	3 月	大型照明電源車を消防署に配備
昭和 60 年	3 月	水南分団詰所を移転新築
	8 月	現場指揮本部等の体制強化を図るため、消防署に指令車を増強配備
	10 月	陶原分団詰所を移転新築
昭和 61 年	6 月	愛知県防災行政無線の災害通信メディア体系を整備し、防災行政事務に関する通信網を改善
	12 月	火災救急統計用のパソコンを導入
昭和 62 年	1 月	上品野分団を品野台分団に名称変更
	2 月	火災情報テレホンサービスの開始
昭和 63 年	3 月	品野台分団詰所を移転新築 防火思想の普及、消防施設の整備等の功績により、消防庁長官から表彰旗を受ける。
平成 元 年	3 月	自治体消防発足 4 0 周年記念大会の開催
	4 月	瀬戸市婦人消防隊連絡協議会設立
	10 月	品野町 1 丁目に東分署移転新築、旧庁舎は南出張所として消防業務を開始
平成 2 年	3 月	消防緊急情報システムの運用開始 救急波消防無線の導入整備
	11 月	第 8 回愛知県防火推進大会の開催
平成 3 年	2 月	団資機材搬送車を水野分団に配備
	3 月	南出張所を南分署に名称変更、南分署庁舎新築
	10 月	団資機材搬送車を幡山分団に配備 救助工作車を消防署に配備し、旧車両を東分署に配備
	11 月	3 8 m 級梯子付消防自動車を消防署に配備し、旧車両を南分署に配備 消防団が消防活動の充実等の功績により、愛知県消防協会長から特別功績旗を受ける。
平成 4 年	3 月	東明分団詰所を移転新築
	7 月	団資機材搬送車を東明分団に配備
	10 月	消防署指令車を更新配備 1 8 m 級梯子付消防自動車を東分署に更新配備 第 8 回全国婦人消防練法大会に愛知県代表として瀬戸市婦人消防隊が出場（横浜市）
平成 5 年	4 月	消防本部に予防課、消防署に救急係を設置
	9 月	救急高度化推進計画に基づき、高度化資器材の一部を配備
	10 月	水 II 型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成 6 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	3 月	団資機材搬送車を下品野分団に配備
	4 月	東分署に救急係を設置
	7 月	第 3 9 回愛知県消防練法大会を市民公園陸上競技場で開催
	11 月	水 II 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備

平成 7 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	10 月	高規格救急車を消防署に更新配備 防災資機材地域備蓄倉庫新築
平成 8 年	1 月	自衛消防隊と大規模災害時における消防業務協定締結（19事業所）
	2 月	普通救命講習会の実施
	3 月	水Ⅱ型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
	12 月	高規格救急車を東分署に更新配備
平成 9 年	1 月	下品野分団詰所を新築
	4 月	南分署に救急係を設置
	12 月	30m級梯子付消防自動車を南分署に更新配備
平成 10 年	1 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	9 月	自治体消防発足50周年記念大会の開催 高規格救急車を南分署に更新配備
平成 11 年	11 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
	12 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
平成 12 年	4 月	瀬戸市少年消防クラブ設立
	5 月	二市一町救急業務連絡協議会の設立
	10 月	公立陶生病院にて救急隊臨床実習を開始 C D—I 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備 C D—I 型消防ポンプ自動車を古瀬戸分団に更新配備
	12 月	消防緊急通信指令施設を更新し、運用開始、発信地表示装置を導入 消防指揮車を消防署に更新配備
平成 13 年	1 月	消防本部庁舎の耐震工事の施工（仮眠室個室化）
	3 月	名古屋市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7 月	消防本部公式ホームページの開設
	11 月	救急隊病院内臨床実習・医師救急車同乗研修（ワークステーション）の開始
平成 14 年	3 月	瀬戸市消防本部シンボルマークを「ファイ太くん」に決定 消防職員に災害情報メールの配信開始
	4 月	応急手当普及推進計画（普通救命講習目標年間3,000人）の開始
	5 月	消防団員に災害情報メールの配信開始
	10 月	生物・化学テロ対策として消防庁から資機材を受領（化学防護服・除染シャワー・各種検知資機材） 東分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	12 月	聴覚障害者を対象に災害情報メールの配信開始
平成 15 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を品野台分団に更新配備 消防署住民票取次ぎサービス開始 祖母懐公民館に100㎡型耐震性貯水槽を設置
	3 月	祖母懐分団詰所を移転新築
	4 月	副団長3名制、団員入団資格を市内在住・在勤に拡大
	6 月	公立陶生病院「救急業務高度化推進業務委託契約」締結
	8 月	愛知医大「救急業務高度化推進業務委託契約」締結 救急隊包括的指示除細動運用開始
	10 月	小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に更新配備 小型動力ポンプ付水槽車（10t）を東分署に配備 愛知県・瀬戸市総合防災訓練（林野火災）を実施 （2005年日本国際博覧会東ターミナルゾーン予定地）
	12 月	瀬戸市消防団ラッパ隊発足 消防高所監視カメラ運用開始
平成 16 年	2 月	南分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	3 月	「救命手当のできる店」を発足
	10 月	二市一町救急業務連絡協議会BCテロ災害対応訓練を実施
	11 月	市内公共施設（4箇所）にAEDを設置（県内初）
平成 17 年	2 月	消防自動二輪車（赤バイ）を日本消防協会から寄贈を受ける（3台） 消防自動二輪車隊（赤バイ隊）を発足 C D—I 型消防ポンプ自動車を東明分団に更新配備

	3月	女性消防団員（15名）を採用 愛知万博総合防災訓練を実施 東海環状自動車道総合防災訓練を実施（6消防本部合同） 瀬戸市消防署万博分署設置（万博期間中）
	9月	瀬戸市消防署万博分署を閉署
	10月	財団法人2005年日本国際博覧会協会から救急自動車の寄贈を受け東分署に更新配備 携帯電話による119番直接受信開始
平成18年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水南分団に更新配備 災害支援消防団員（OB団員）を任命（12名）
	3月	市道拡張工事に伴い、効範分団詰所を移転新築 尾張旭市及び長久手町と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	4月	消防本部1課体制へ移行、グループ制を導入
	5月	春日井市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	8月	岐阜県土岐市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結 輸送車（パワーゲート付）を消防署に更新配備
	9月	岐阜県多治見市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	11月	救助工作車II型を消防署に更新配備
平成19年	2月	38m級梯子付消防自動車を廃車し、30m級と18m級の梯子付消防自動車2台体制に変更
	4月	消防署グループ制を導入
	5月	特別救急隊の運用開始（毎週木曜日）
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を下品野分団に更新配備
	12月	瀬戸市AEDステーション認定制度創設
平成20年	8月	広報車を南分署に更新配備
	10月	輸送車（パワーゲート付）を東分署に配備
	11月	団資機材搬送車を水野分団に更新配備
平成21年	3月	水II型消防ポンプ自動車（クラスA消火泡混合装置付）を消防署に更新配備
	7月	特別救急隊の運用日拡充（火、木曜日）
	8月	査察車を東分署に更新配備
	10月	団資機材搬送車を幡山分団に更新配備
	11月	消防団安全安心パトロール開始
平成22年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	4月	特別救急隊の運用日拡充（火、水、木、金曜日）
	7月	団資機材搬送車を東明分団に更新配備
	8月	救急安心たまご事業を開始
	8月	高規格救急車を消防署に更新配備
	10月	ガンバレ消防団応援事業所創設
平成23年	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	3月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を南分署に更新配備
	5月	特別救急隊の運用日拡充（月～金曜日） 幼年消防クラブ設立
	12月	CD-I型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成24年	2月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を東分署に更新配備 団資機材搬送車を下品野分団に更新配備
	3月	高規格救急車を南分署に更新配備
	7月	ハートフル講座を開始
	11月	消防団訓練場を開設 わんわん消防隊結成式を開催
	12月	瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始
平成25年	2月	塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	高規格救急車を消防署に更新配備
	12月	消防団応援サポーター制度開始
平成26年	1月	新救急ワークステーション施設運用開始 塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	消防救急デジタル無線の運用開始 空中活動消防車を南分署にはしご車の更新車両として配備
	4月	地域防災担当制を導入
	10月	御嶽山の噴火災害に係る緊急消防援助隊派遣（5名）
平成27年	2月	広報61号車を愛知県共済生活協同組合から寄贈を受ける
	3月	道泉分団詰所の竣工
	5月	瀬戸市消防団による大学生等活動認定制度開始

平成 28 年	7 月	公共施設 A E D の屋外設置開始（県内初）
	10 月	消防署全署所のオールトップ勤務開始（通信を除く） 救急ワークステーション 24 時間体制の運用開始
	12 月	緊急通報メール 119 番の受信業務開始
	2 月	指揮車を消防署に更新配備
	3 月	高規格救急車を東分署に更新配備 救急隊 4 名出場開始 山口分団詰所の竣工。山口分団車及び搬送 6 号車（消防庁無償貸付）の配備

消 防 相 互 応 援 協 定

消防組織法第 39 条第 2 項の規定に基づき、消防の相互応援について次のとおり協定を締結している。

	締 結 先 機 関 名	協定締結年月日	摘 要
愛 知 県	尾 張 旭 市	昭和27年11月28日	隣接市との応援協定
	長 久 手 市	昭和39年9月1日	〃
	春 日 井 市	昭和39年10月1日	〃
	豊 田 市	昭和43年8月1日	〃
	名 古 屋 市	昭和53年6月1日	〃
	全 市 町 村	平成2年4月1日	県内広域応援協定
	名古屋市他 24 消防本部 一部事務組合	平成28年3月15日	愛知県下高速道路における 消防相互応援協定
岐 阜 県 等	多 治 見 市	昭和44年2月1日	隣接市との応援協定
	土 岐 市	昭和58年1月31日	〃
	豊田市、多治見市、土岐市 可茂消防事務組合、中濃消防組合	平成17年2月25日	東海環状自動車道における 消防相互応援協定
	岡崎市、豊田市、多治見市 土岐市、可茂消防事務組合 中濃消防組合	平成28年2月13日	東海環状自動車道における 消防相互応援協定（改正）

平成28年版消防年報

編集 瀬戸市消防本部 消防課
発行 平成28年10月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町101
TEL 0561(85)0479(予防広報担当)
FAX 0561(21)6605

URL ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>
E-mail ▶ shobohonbu@city.seto.lg.jp